

小金井市児童館運営基本方針

平成19年4月1日制定
平成31年4月1日一部改定
令和3年4月1日一部改訂

小金井市の児童館は、乳幼児と保護者への支援から、中・高校生世代への居場所作りまで、様々な施策を行っています。

児童館は、子ども一人一人が安全な環境の中で遊びを通して仲間との関わりの中で育つ、子どもの健全な成長を願う地域の人たちが手をつないだ地域の子育て、子育て、健全育成の拠点として、「のびゆくこどもプラン 小金井」（小金井市子ども・子育て支援事業計画）、「小金井市子どもの権利に関する条例」、「児童館ガイドライン」（平成30年10月厚生労働省改正）に則し、以下のことを柱として児童館運営基本方針とします。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止について、国や都及び市からの指示に迅速に対応しながら、施設や利用者の安全を第一とした運営を行います。

1 乳幼児の保護者に対しての施策の充実

- (1) 「行きたいときに気軽に行ける場を」という強い要望に応え、乳幼児と保護者の居場所としての子育てひろば事業を充実させていく。
- (2) 子育てに関する相談や幅広い対応のため、他機関の協力も得ながら、専門家による相談事業や講習会を行っていく。
- (3) 保護者の主体的な活動を支援し、地域に子育ての輪を広げるために、幼児グループの活動を充実させていく。

2 小学生に対する事業の充実

- (1) 小学生、特に高学年の下校時間、来館時間に合わせた開館時間延長の試行を継続していく。
- (2) 子どもの自主性・創造性を育むために、異年齢同士の協力関係を作るために、小学生のグループ活動を各児童館の独自性を打ち出しながら行っていく。
- (3) 小学生の活動は、子どもの意見を取り入れながら、工作・料理・アウトドア活動など幅広く展開していく。
- (4) 文化・芸術・アウトドア（野外）等、幅広く魅力ある企画を実施するために、地域の人材やボランティアの協力を得る。
- (5) 小学生に対して創作、体力増進、異年齢集団での仲間作り等を主旨とした事業を行っていく。
- (6) 合同事業について、四館協力して実施していく。

3 居場所作りを中心とした、中・高校生世代に対する施策の充実

- (1) 中・高校生世代の居場所作りを基本とした夜間開館事業を含めて拡充していく。その中で、施設面を活かしながら、その世代の趣向に応じた事業も開拓していく。
- (2) 中・高校生世代を地域の重要な人材として捉え、日常的なボランティアとしての育成とともに、自主的な活動や社会参画を支援する。

4 相談事業及び子どもの問題に対する地域や関係機関との連携した取組

- (1) 子ども・保護者からの相談に対応できるよう相談事業に力を入れて行く。
- (2) 来館する子ども一人一人に日常的に目を向けて、子どもと信頼関係を築き、子どもまたは保護者とともに問題の解決を図っていく。
- (3) 虐待等の問題に対応するために、子ども家庭支援センターを中心とした市のネットワークの中で他機関と連携していく。
- (4) 地域の人材をボランティア又は講師として活用して幅広い事業を展開し、職員はコーディネーターとして、子どもとの橋渡しを行う。
- (5) 青少年健全育成地区委員会、学校、子供会、民生・児童委員等と今後関係性を強めていく。
- (6) 子育て支援や児童文化活動を行う各種の地域組織と連携していく。
- (7) 施設運営に際し、利用者及び地域の人たちからの意見、要望を取り入れ、また理解を得られるように、話し合う機会を設ける。

5 子どもや利用者の安全を守るための取組

- (1) 児童館施設安全管理及び緊急対応マニュアルを規範として、日常的に危機管理意識を持ち、防災、事故の抑制、不審者の対策にあたる。
- (2) 利用者や児童の参加による、災害・不審者に対応した訓練を実施する。
- (3) 地域の安全という視点で、防災や不審者対策については、必要に応じて地域団体等と連携していく。

令和3年度 小金井市児童館四館合同事業計画

小金井市児童館運営基本方針、児童館ガイドライン、小金井市子どもの権利に関する条例に基づき、以下のとおり令和3年度の合同事業について、四館協力しながら取り組みます。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた事業運営に取り組むと共に、新たな事業作りを目指します。

1 乳幼児と保護者に対する施策

- (1) 市の子育てひろば事業の各課連携のメンバーとして、学童保育所及び他課と協力していきます。
- (2) 各児童館での子育てひろば事業における、利用者からのニーズの反映と幅広い広報の充実を図るために、定期的に担当者会議を行い、全体的な子育てひろば事業の向上を目指します。

2 小学生から中・高校生世代までを対象とする施策

- (1) 小学生の放課後の実情に合わせ、小学校4年生以上を対象とした開館延長の試行事業を継続します。
- (2) 野外体験や地域の環境保全の働きかけの場として、移動児童館事業を実施（年間9回）し、8月後半には「わんぱく団」を実施します（いずれも都立武蔵野公園くじら山周辺で実施）。
- (3) 「小金井市子どもの権利に関する条例」の条項を活かし、小学生以上の子どもたちが主体的にかかわる事業を四館協力して行います。今年度については、これまでの事業を見直し新たな合同事業を実施します。
- (4) 地域の多くの中・高校生世代がボランティアとしてかかわれるように、館を越えた広い呼びかけを行い、地域の人材としての受け入れに努め、またボランティア同士が交流する機会を作ります。
- (5) 中・高校生世代のボランティアに対しては、意見表明の場を作り、それを事業に活かします。

3 その他

- (1) 各児童館に意見箱を設置し、子どもたちから意見や要望を、所定の用紙に記入し、投函してもらいます。その内容について、回答を月1回館内に貼りだします。
- (2) 子どもや利用者に児童館をわかりやすく知ってもらうため、館内に事業の紹介やルール等の掲示、活動結果の展示を常にします。
- (3) 職員研修会を年2回実施します。また子どもの権利等、職員のスキルに必要な法令や施策については、継続的に勉強会を行います。

令和3年度 本町児童館事業計画

小金井市児童館運営基本方針、児童館ガイドライン及び小金井市子どもの権利に関する条例に基づき、以下のとおり令和3年度事業計画を策定します。また、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染対策を最優先し、事業の実施については、それに対応していきます。

施設及び事業の運営については、令和3年度も引き続きほんちょう学童保育所と施設の一部の共用化を図るなど、互いに協力しながら行っていきます。

1 乳幼児と保護者に対する事業

- (1) 地域の乳幼児と保護者の居場所作りを中心とした「子育てひろば事業」を、以下のとおり実施します。
 - ① 「乳幼児のつどい」として、遊戯室を月曜日、水曜日、木曜日の午前10時から午後2時まで開放します。
 - ② 月曜日は「0～2歳児」、水曜日は「1歳児」、木曜日は「0歳児」と曜日ごとに年齢別の交流会を実施します。
- (2) 今まで以上に保護者と子どもが利用しやすいスペースとなるように整備します。
- (3) 子育てひろばでは、食育・健康・生活・読書推進活動として絵本の紹介等、子育てや子どもに関する講座や相談会を、保護者の意見を取り入れ、地域の人材や市の関係機関の協力を得ながら実施します。
- (4) 父親の子育てへの参加を支援するための事業を実施します。
- (5) 親子での交流を目的とした、保護者が主体的に運営する幼児グループを、2歳児以上合同として週2回行います。
- (6) 幼児グループの保護者の自主活動と交流の促進を図ります。またグループ同士の情報交換会を実施します。
- (7) 幼児を持つ保護者同士の交流を支援します。また、幼稚園児世代対象の事業を、その保護者やOBのボランティアの協力によって実施します。

2 小学生に対する事業

- (1) 自由来館の児童の1人1人に対して積極的に関わり、信頼関係を築きます。
- (2) 1年生から3年生までの低学年グループを、毎週火曜日と金曜日の2回に分け、それぞれ実施します。
- (3) 4年生以上の高学年グループを、毎週水曜日にチャレンジグループとハンドメイドグループに分けて実施します。
- (4) 子どもに関わっている自主グループを支援し、行事の企画実施・指導に地域のボランティアの力を取り入れ、幅広い内容の活動を実施します。
- (5) 子どもたちが準備から実施まで関わる四館合同事業を、他の児童館と協力して実施します。
- (6) 異年齢の子どもが交流できるよう、遊戯室を有効に活用していきます。
- (7) 夏休みの特別事業として、夏期クラブをボランティアの意見を取り入れて、企画実施します。
- (8) 掲示板等も活用し、子どもたちの意見を行事に取り入れます。

3 中・高校生世代に対しての施策

- (1) 来館する1人1人と信頼関係を構築し、意見や要望または相談にも対応できるように努めます。
- (2) 中・高校生世代のボランティア、職場体験実習を積極的に受け入れます。特に夏期クラブでは事前の企画から参加を募ります。
- (3) 土曜日や開館延長時では活動場所を確保し、居場所づくりを行います。また異年齢の子どもたちと触れ合うことのできる環境を整えます。
- (4) 乳幼児との異世代交流事業として、8月の乳幼児のつどい、学校休業日にボランティアとして参加を募ります。
- (5) 中・高校生世代の意見や要望には、ボランティア等の協力を得ながら事業につなげます。また自主的な活動の場を提供します。

4 相談事業及び子どもの問題に対しての地域や関係機関との連携した取組

- (1) 配慮の必要な子どもについては、問題の解決に向けて支援していきます。また、職員だけでの対応が難しい場合には、保護者やボランティアの協力を得ます。
- (2) 保護者からの子育てに関する軽易な相談や子ども自身からの相談を受けます。深刻な相談については、その後適切な機関とつながるように配慮します。また、その後の支援に努めます。
- (3) 地域の子育てや健全育成に関わる人たちの拠点となるような施設を目指します。特に、大学生・青年ボランティアと子どもとの関わりを深めます。
- (4) 子どもに関係する様々な自主サークル（グループ）を支援し、児童館でその力を発揮する機会を作ります。
- (5) 近隣の学校・子ども家庭支援センター・児童発達支援センター・主任児童委員・青少年健全育成地区委員会等の関係機関とよりよい関係を作ります。また、虐待またはその疑いのあるケースについては、子ども家庭支援センターに通報し、必要に応じて連携します。
- (6) 利用者懇談会を実施し、施設の運営や地域の子どもの問題、安全に対して、利用者のもとより近隣や地域組織の方々からも意見をいただく機会を設けます。
- (7) 子供会等、子どものために活動する地域の大人の組織に対し協力・連携をし、その活動の場の提供を行います。
- (8) 食育については、地域のボランティアや市内の生産者の協力を得て、乳幼児の保護者対象に講座、イベント等を実施します。また、小学生に対しても環境や食材の知識を学べる事業を実施します。

5 子どもや利用者の安全を守るための取組

- (1) 館庭での火の取扱いや騒音には十分な注意をし、近隣の住民の方々から理解を得られるように努めます。
- (2) 優良防火対象物認定施設として、職員のスキルのアップ、施設の整備には万全を期します。
- (3) 防災及び不審者対策とした訓練について、学童保育所と合同で3回、乳幼児を対象として館独自で3回、年計6回実施します。
- (4) 児童館施設安全管理及び緊急対応マニュアルを規範として、子どもたちの安全を図ります。

本町児童館令和3年度事業予定一覧

幼→乳幼児 小→小学生 中→中学生 高→高校生世代
大→(地域の)大人 表示なし→対象定めず

| 事業対象 | 事業名 | 内 容 | 実施月・曜日・回数等 (予定) |
|------|--------------|--|-----------------------------------|
| 幼 | 乳幼児のつどい | ①0～2歳児交流会②1歳児交流会③0歳児交流会 保護者の交流、手遊びや親子遊び、季節行事の実施 | ①月曜日②水曜日③木曜日(学校長期休業期間は日にちを限定して実施) |
| 幼 | 乳幼児講座 | 離乳食、食育、絵本紹介、ベビーマッサージ、親子体操、救命その他様々なテーマで、地域の専門家やボランティアを講師として実施 | 月1～2回 |
| 幼 | 子育て相談会 | 健康、食育、その他様々なテーマで専門家を講師に招いて実施 | 年数回 |
| 幼 | 幼児グループ | 保護者が主体的に運営する子育ての共有の場。4月募集、5月から実施。各週1回の活動(母親向け講座を年1回予定) | 毎週火・金曜日(学校長期休業期間は行わない) |
| 幼 | パパとあそぼう | 父親同士の交流や子どもとの交流、ベビーフォトアートなど | 年数回(土曜日) |
| 幼 | あつまれ!わんぱくキッズ | 幼稚園児世代とその保護者対象。ボランティアグループによる交流会 | 年数回 |
| 幼小 | 大きな絵本劇場 | 大きな絵本の読み聞かせ、ボランティアグループによる読み聞かせ会 | 年数回(木曜日) |
| 幼小 | 人形劇の上演 | 人形劇団による公演会 | 年1回 |
| 幼小中 | 少年少女・囲碁将棋教室 | ボランティア指導による囲碁、将棋、オセロなどの教室 | 月1回(水曜日) |
| 小 | 低学年グループ | 小学校1～3年生対象。職員と工作やおやつ作り等を行う。4月に募集。5月から隔週実施 | 隔週火曜日、金曜日のどちらかに申込み(学校長期休業期間は行わない) |
| 小 | 高学年グループ | 小学校4年生以上。男女に分かれて、または合同で職員と工作や集団遊び、スポーツ等を行う。4月に募集。5月から実施 | 毎週水曜日(学校長期休業期間は行わない) |
| 小 | 夏期クラブ | 小学校1～6年生までを対象に、異年齢でのグループ活動を基本に工作やレクリエーション活動を実施 | 7月後半(夏休み)の5日間(宿泊あり) |
| 小 | 子ども会議 | 高学年グループの時間において、四館合同事業に向けての企画準備などを子どもたちが主体で実施 | 原則水曜日(6月から実施予定) |
| 小 | 熱血球技大会 | 異年齢交流の球技大会、交流試合 | 月1回(木曜日) |

| 事業対象 | 事業名 | 内 容 | 実施月・曜日・回数等 (予定) |
|------|--------------|--|--------------------|
| 小 | フェルト職人と工房体験 | フェルト作家講師によるアクセサリー工作 | 年1回(土曜日) |
| 小 | アート・クラフトスクール | ボランティア指導によるクラフト工作 | 年1回 |
| 小 | 地域オリエンテーリング | 大学生サークル協力による館外レクリエーション活動 | 年1回 |
| 小 | 本町マンガ・ラボ | ボランティア指導によるイラストの描き方教室 | 年1回 |
| 小中 | 本町ダンス・ラボ | ボランティア指導によるダンスレッスン | 年数回 |
| 小中 | 本町ゲームショウ | ボードゲーム・トレーディングカードゲーム・ベイブレード対戦を実施 | 月1回(土曜日) |
| 小中 | 野外行事 | 年数回予定。カヌー体験、水族館鑑賞、フィールドアスレチック遠足 | 年数回 |
| 小中高 | 本町卓球教室 | ボランティア指導による卓球教室 | 月1回(木曜日) |
| | 子ども縁日 | 児童館で活動している小学生から大人までのグループを中心に出店する子ども縁日 | 年1回 |
| 幼小中高 | 異世代交流事業 | 乳幼児のつどいに中・高校生世代が保育ボランティアとして参加し、保育体験や保護者と交流する | 学校振替休業日、夏季休業期間 |
| 中高 | 夏期クラブリーダー会 | 夏期クラブのボランティアリーダーと企画等を決めたり、準備、打ち合わせをする。 | 年数回 |
| 中高 | 中・高校生世代交流会 | 中・高校生世代向けしゃべり場、ボードゲームでの交流会 | 年1回 |
| 大 | 利用者懇談会 | 日常的な利用者、自主グループ、関係団体、近隣住民と児童館や地域での子どもや子育てについて話し合い、意見をもらう。 | 年1回 |

令和3年度 東児童館事業計画

小金井市児童館運営基本方針、児童館ガイドライン及び小金井市子どもの権利に関する条例に基づき、下記のとおり令和3年度の事業計画を策定します。また、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染対策を最優先し、事業の実施については、それに対応していきます。

1 乳幼児と保護者に対する事業

- (1) 常設子育てひろば
 - ① 開館日の月曜日から土曜日の午前10時から午後4時まで、職員が常駐し、乳幼児とその保護者を対象とした居場所を設けます。
 - ② 親子同士の交流をサポートし、地域および子育ての情報交換の場とします。
 - ③ 乳幼児の発達に添った遊びや接し方を提案し、子育て中の保護者の話に傾聴するなど、親子に寄り添います。
 - ④ 毎月、手遊びや誕生日会、おはなし会等を行います。
 - ⑤ 食育、健康、趣味等の保護者対象の講座や相談会を実施します。
 - ⑥ 近隣公園等での「出張ひろば」を実施します。
 - ⑦ 子育て中の父親の交流と育児参加のきっかけの場となる行事を実施します。
- (2) 親子同士の交流を目的とし、保護者が主体的に運営する幼児グループを、2歳児グループを週2回、3歳児グループを週1回行います。
- (3) 幼児グループの参加者を対象に、子育てに関する講座を年2回実施します。
- (4) 幼稚園世代対象事業として、園の長期休みに施設開放や遊びの提供等を行います。
- (5) 幼稚園世代を対象に、地域のボランティアや自主グループによる行事を行います。

2 小学生に対する事業

- (1) 来館するひとりひとりを尊重し、積極的に関わり、信頼関係を築きます。
- (2) 1年生から3年生までを対象に、低学年グループを火曜日と金曜日に実施します。
- (3) 4年生から6年生までを対象に、高学年グループを水曜日に実施します。
- (4) 子どもたちが準備から実施まで関わる四館合同事業を、他の児童館と協力して実施します。
- (5) 行事の企画実施・指導に、地域のボランティアや自主グループの力を取り入れ、幅広い内容の活動を実施します。
- (6) 近隣の大学や地域団体との連携事業を実施します。
- (7) 夏休みの特別事業として夏期クラブを企画します。ボランティアの意見などを取り入れながら、5日間充実した内容で実施します。
- (8) 子どもの権利について、掲示板等を活用して子どもに分かりやすく周知を図ります。また、子どもの意見を可能な限り事業に反映させます。

3 中・高校生世代に対しての施策

- (1) 来館するひとりひとりと信頼関係を築き、意見や要望または相談に対応するように努めます。

- (2) 週1回（水曜日）午後8時まで開館し、中高校生タイム「ふれいす HIGAJI」を実施し、中・高校生世代の居場所作りをします。
- (3) 中・高校生世代が多様な価値観を持ち、自ら企画、実施することで参画する立場へのステップアップを目指すよう「とびだせ！中高生」を実施します。
- (4) 中・高校生世代が自分たちで企画、実施する宿泊行事を行います。
- (5) 中・高校生世代が地域のボランティアリーダーとなるように育成を図ります。
- (6) 料理教室などの事業を中・高校生世代の意見を取り入れながら、実施します。
- (7) 講座等の実施には、地域のボランティアや専門家の協力を得ます。
- (8) 中・高校生世代と乳幼児ふれあい事業を、子育てひろばと連携し、保育の専門家の協力を得て実施します。
- (9) 四館合同行事での発表・製作に向けて、多くの参加を募り、その自主的な活動の場を提供します。

4 相談事業及び子どもの問題に対しての地域や関係機関との連携した取組

- (1) 配慮の必要な子どもについては、問題の解決に向けて支援していきます。また、職員だけでは対応が難しい場合には、状況に応じて保護者やボランティアの協力を得ます。
- (2) 保護者からの子育てに関する軽易な相談や子ども自身からの相談を受けます。深刻な相談については、適切な機関とつながるように配慮します。また、その後の支援に努めます。
- (3) 専門相談として、子育て相談（臨床心理士）、思春期相談（臨床心理士）を毎月1回（3枠）行います。
- (4) 近隣の学校・子ども家庭支援センター・児童発達支援センター・主任児童委員・青少年健全育成地区委員会等の関係機関とよりよい関係を作ります。また、虐待またはその疑いのあるケースについては、子ども家庭支援センターに通報し、必要に応じて連携します。
- (5) 子どもに関係する地域団体や自主グループを支援します。
- (6) 施設の運営や地域の子どもの問題、安全に対して、利用者など、地域や地域団体の意見を集約する機会として利用者懇談会を実施します。
- (7) 乳幼児から小学生までを対象に、食育を目的とした、市内の生産者との交流や、地域のボランティアの協力による環境に配慮した料理教室を実施します。
- (8) 児童館の利用者やボランティアグループ、地域の子どもの育成を担う方と東児童館運営会議を開催し、児童館事業の充実化を図ります。
- (9) ホームページ等を活用し、事業の広報を行います。

5 子どもや利用者の安全を守るための取組

- (1) 児童館緊急対応マニュアルを規範として、子どもや利用者の安全を図ります。
- (2) 館庭での火の取扱いや騒音には充分注意し、近隣住民の理解を得られるよう配慮します。
- (3) 学童保育所と合同での防災避難訓練を年3回実施します。また児童館のみの避難訓練を年3回実施します。

東児童館令和3年度事業予定一覧

幼→乳幼児 小→小学生 中→中学生 高→高校生世代
大→(地域の)大人 表示なし→対象定めず

| 事業対象 | 事業名 | 内 容 | 実施月・曜日・回数等 (予定) |
|------------------|------------------------|---|--|
| 幼 | 常設子育てひろば | 乳幼児と保護者が対象の交流スペース 軽度な相談の対応、誕生日会、読み聞かせ、工作、リ サイクル、茶会、出張ひろば等の定例行事や季節行事 を自主活動グループの協力も得ながら行う | 月曜日から土曜日 |
| 幼 | 子育てひろば講習会 | 離乳食作り、名札作り、救急法等の講習会、趣味や環 境に関する講座、相談会など、地域の専門家やボラン ティア等に講師を依頼し行う | 月1回程度 |
| 幼 | 子育てひろば相談会 | 健康、食事、その他について、保育園等から専門家を 招いて相談会を行う | 年3回程度 |
| 幼 | 子育てひろば「おと うさんもいっしょ」 | 父親の育児参加のきっかけの場として行う | 月1回・土曜日 |
| 幼 小 中 高 | 異年齢交流 | 中・高校生世代と乳幼児のふれあい事業を行う また、常時、子育てひろば入り口のスペースを小学生 と乳幼児が交流を図れる場とする | 年2回程度 |
| 幼 | 幼児グループ | 2歳児は2グループ、3歳児は1グループとする 季節の行事を中心とした、保護者による自主的なプロ グラムの企画・運営を職員がサポートする。4月に募 集、5月から実施。参加者対象に講座を行う(年2 回) | 毎週火・木・金曜日(幼稚園 の長期休業期間中は行わな い) |
| 幼 | 幼児の親子を対象と した手作り教室 | 幼稚園児世代の親子を対象に手作り教室を行う | 年1回程度 |
| 幼 | おいでよ!3・4・ 5・6 | 幼稚園児世代の親子を対象に施設の開放、遊びの提供 等を行う | 年6回(幼稚園等の春、夏、 冬の長期休業期間中に2日以 上行う) |
| 幼 小 | わくわくキッズ | 幼稚園児世代の親子と小学校低学年を対象にボラン ティアによる物作り | 年4回程度 |
| 幼 小 | おはなし会 | ボランティアが行うおはなし会 | 月1回・木曜日(8月は行わ ない) |
| 小 | 低学年グループ | 小学校1～3年生対象に工作やおやつ作り等を行う 4月に募集、5月から実施 | 毎週火曜日、金曜日のどちら かに申込み(学校の長期休業 期間は行わない) |
| 小 | 高学年グループ | 小学校4～6年生対象に1ないし2グループで活動す る子どもの意見を尊重し活動に取り入れながら工作や おやつ作り、スポーツ等を行う 4月に募集、5月から実施 | 毎週水曜日(学校の長期休業 期間は行わない) |
| 幼 小 | やってみよう!焼き 芋体験 | たき火の体験なども含めて焼き芋を行う 学童保育所との合同行事 | 年1回・11月 |
| 小 | 子ども会議 | 四館合同行事を小学生主体に企画、実施させるため に行う(一般公募も行う) | 随時 |
| 小 | いとうおじちゃんの 工作 | 地域のボランティアの指導による工作 | 年6回程度 |

| 事業対象 | 事業名 | 内 容 | 実施月・曜日・回数等 (予定) |
|------|-----------------|--|-----------------------------|
| 小 | 料理をしよう (食育講座) | 職員による食育を前提とした料理またはおやつ作りの教室 グループ活動に参加していない小学生を対象とする | 年2回程度 |
| 小 | 新一年生歓迎会 | 主に新一年生を対象に児童館の紹介を兼ねたお楽しみ会を行う 学童保育所との合同行事 | 年1回・4月 |
| 小 | 館外行事 | 小学生対象に遠足等を行う | 年3回程度 |
| 小 | HIGAJIかるちゃー | 近隣大学や地域団体、地域の方と連携して創作的な遊びを提供する | 年1回程度 |
| 小 | 夏期クラブ | 小学校1～6年生対象の異年齢でのグループ活動 工作やレクリエーション、宿泊を行う | 年1回・5日間 |
| 小中高 | 国際交流を図ろう | 地域のボランティア団体の協力によって、イベントを通じて留学生と交流を図る | 年2回程度 |
| 小中高 | マンガイラスト教室 | 近隣大学や地域団体、地域の方の指導によるマンガを中心としたイラストの描き方教室 | 年6回・土曜日 |
| 小中高 | おばけ屋敷 | 小学校高学年以上がおばけ屋敷を企画・運営し、実施する | 年1回 |
| | 子ども縁日 | 児童館で活動している小学生及び自主グループや地域の大人とともに縁日を行う | 年1回・3月 |
| | ナオセルマン博士のおもちゃ病院 | おもちゃ病院グループスタッフによる、おもちゃの修理 受付は、随時行う | 月1回・第1水曜日 (1月・8月は行わない) |
| 中高 | ふれいすHIGAJI | 職員・ボランティアとの交流を通して、中・高校生世代の居場所作り 地域のボランティアの協力による講座を年に12回程度行う | 毎週水曜日 (夏期クラブ、わんぱく団期間を除く) |
| 中高 | 夏期クラブリーダー会 | ①夏期クラブのボランティアリーダーとともに夏期クラブの企画について話し合い、準備を行う ②夏期クラブ終了後、ボランティアリーダーへの慰労を兼ねながら来年へ向けて意見交換を行う | 年2回程度 |
| 中高 | とびだせ！中高生 | 参加から参画へのステップアップとして、中・高校生世代が自分たちで館外行事を企画、実施する | 年2回程度 (ふれいすHIGAJI内で企画に取り組む) |
| 中高 | とまるぜ！中高生 | 宿泊を通して、中・高校生世代の交流を図る 内容は中・高校生世代が企画、実施する | 年1回程度 (ふれいすHIGAJI内で企画に取り組む) |
| 中高大 | 専門相談 | ①子育て相談 (臨床心理士) ②思春期相談 (臨床心理士) | 月1回 |
| 大 | 利用者懇談会 | 児童館の紹介や地域の子育てに関する情報・意見交換等の懇談会 利用者、自主グループ、関係団体、近隣住民を招いて行う | 年1回程度 |
| 大 | 東児童館運営会議 | 児童館の利用者やボランティアグループ、地域の子どもの育成を担う人たちと共に、児童館事業について話し合いを行う | 年3回程度 |

令和3年度 貫井南児童館事業計画

小金井市児童館運営基本方針、児童館ガイドライン及び小金井市子どもの権利に関する条例に基づき、以下のとおり令和3年度事業計画を策定します。また、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染対策を最優先し、事業の実施については、それに対応していきます。

1 乳幼児と保護者に対する事業

- (1) ボランティア等の協力を得ながら、地域の乳幼児と保護者が交流を図るため、「子育てひろば事業」を実施します。
- (2) 「乳幼児のつどい」は、遊戯室を月曜日、木曜日、金曜日の午前10時から午後1時30分までのフリースペースとします。月・金曜日は「0～2歳児」、木曜日は「0歳児」と曜日ごとに年齢別の交流会を実施します。
- (3) 子育てひろばでは、食育・健康・読書活動等、子育てや子どもに関する相談会や講習会を、保護者の意見を取り入れ、ボランティアや関係機関の協力を得ながら実施します。
- (4) 父親の子育て参加を支援するための事業を年10回土曜日に実施します。
- (5) 親子での交流を目的とした、保護者が主体的に運営する幼児グループを2歳児以上として週2回行います。
- (6) 3歳から6歳児(幼稚園次世代)対象の遊戯室の自由開放の日を設けます。

2 小学生に対する事業

- (1) 自由来館児の1人1人に対して積極的に関わり、信頼関係を築きます。
- (2) 低学年グループ(小学校1年生～3年生)を、火曜日に週1回実施します。
- (3) 高学年グループ(小学校4年生～6年生)を、水曜日に週1回実施します。
- (4) 低学年グループに入っていない小学校1年生～3年生を対象に、月1回程度行事を行います。
- (5) 子どもに関わっている自主的グループを支援し、行事の企画実施・指導に地域のボランティアの力を取り入れ、幅広い内容の活動を実施します。公民館併設の利点を活かし、高齢者や地域サークルに協力を仰ぎ、様々な行事を実施します。
- (6) 子どもたちが準備から実施まで関わる四館合同事業を、他の児童館と協力して実施します。
- (7) 夏休みの特別事業として、「夏期クラブ」をボランティアの意見を取り入れ企画実施します。
- (8) 自由来館の子どもたちの意見を活かした「子ども作戦会議」を実施します。また、掲示板等子どもたちからの意見も事業に反映させます。

3 中・高校生世代に対しての施策

- (1) 来館する1人1人と信頼関係を構築し、意見や要望に耳を傾けるように努めます。
- (2) 中・高校生世代のための夜間開館事業「スペース@ヌクイ」を、毎週金曜

日午後4時から午後8時まで行い、居場所作りを中心とした活動を行います。

- (3) 中・高校生世代のボランティアを積極的に受け入れます。
- (4) 中・高校生世代の意見や要望を反映させて、行事や講座等の事業につなげていきます。
- (5) バンドスタジオを中・高校生世代の音楽活動の場として開放します。市内の高校生への広報を工夫していきます。
- (6) 音楽活動、ダンス等での利用の促進、さらに同様の目的で自主的に活動するグループを支援し、その発表の機会を作ります。

4 相談事業及び子どもの問題に対しての地域や関係機関との連携した取組

- (1) 配慮の必要な子どもについては、問題の解決に向けて支援していきます。また、職員だけの対応が難しい場合には、保護者やボランティアの協力を得ます。
- (2) 保護者からの子育てに関する軽易な相談や子ども自身からの相談を受けます。深刻な相談については、その後適切な機関とつながるように配慮します。また、その後の支援に努めます。
- (3) 近隣の学校・子ども家庭支援センター・児童発達支援センター・主任児童委員・青少年健全育成地区委員会等の関係機関とよりよい関係を作ります。また、虐待またはその疑いのあるケースについては、子ども家庭支援センターに通報し、必要に応じて連携します。
- (4) 利用者懇談会を実施し、施設の運営や地域の子どもの問題、安全に対して、利用者はもとより、近隣や地域組織からも意見をいただく機会を設けます。
- (5) 子ども会等子どものために活動する地域の大人の組織に対して協力・連携をし、その活動の場の提供を行います。また、併設の公民館とも連携して事業を行っていきます。
- (6) 食育について、地域のボランティアや市内の生産者の協力を得て、乳幼児の保護者や小学生以上の子どもたちに対して、環境や食材の知識を得られる講座や行事を実施します。

5 子どもや利用者の安全を守るための取組

- (1) 館庭での火の取扱いや騒音には十分な注意をし、近隣の住民から理解を得られるよう努めます。
- (2) 防災及び不審者対策とした訓練について、地域組織と合同も含め小学生以上を対象に3回、乳幼児を対象として館独自で3回、年計6回実施します。
- (3) 児童館施設安全管理及び緊急対応マニュアルを規範として、子どもたちの安全を図ります。

貫井南児童館令和3年度事業予定一覧

幼→乳幼児 小→小学生 中→中学生 高→高校生世代
大→(地域の)大人 表示なし→対象定めず

| 対象 | 事業名 | 内容 | 実施月・曜日・回数等(予定) |
|----|--------------------|--|------------------------------------|
| 幼 | 乳幼児のつどい | 親子での交流を図る。①0歳児②0～2歳の親子対象。誕生日会等の行事、手遊びや読み聞かせ等も実施 | 月・木・金曜日(一部実施しない日もあり)①毎週木曜日②毎週月・金曜日 |
| 幼 | ヌクイダディ集まれ | 0～2歳の親子対象。 父親の参加を促す。 | 土曜日午前 月1回程度 年10回 |
| 幼 | 幼稚園世代対象水遊び(仮称) | 幼稚園世代の子どもたちの遊び場として水遊びを行う。 | 8月2回 |
| 幼 | 乳幼児のつどい講座 | 地域ボランティアの指導による子育てに関する講座 | 月1回程度 |
| 幼 | 離乳食相談会 | 離乳食の相談 | 年2回 |
| 幼 | 子育て相談会 | 健康、食事、救命、その他、専門機関を招いての相談会の実施 | 年数回 |
| 幼 | 誕生日会 | 毎月1回絵本の読み聞かせやパネルシアターなどを行い、手作りプレゼントを渡す。 | 年11回 |
| 幼 | 幼児グループ | 2歳児以上の子どもと保護者を対象として行う。週2回実施。保護者が主体的に運営する子育ての共有の場。4月募集、5月から実施。週1回の活動。講演会または講習会を年1回行う。 | 毎週火・水曜日(学校長期休業期間は行わない) |
| 幼 | 貫井南センター祭り子ども部門 | 幼稚園世代の親子を対象として行う。公民館貫井南分館事業に参加する形で、工作の行事を担当する。 | 5月 |
| 幼 | あそぼうキッズ | 幼稚園世代の親子からの要望で遊戯室開放の時間帯を設ける。 | 月2回程度 |
| 幼小 | 人形劇とパネルシアターのクリスマス会 | おはなし広場、人形劇団ピノキオ等の大人の自主サークルの協力で、幼児～小学生対象にクリスマス会を行う。 | 12月の土曜日 |
| 小 | 低学年グループ | 小学校1～3年生対象。工作等を行う。4月に募集、5月から実施。 | 毎週火曜日(学校長期休業期間は行わない) |
| 小 | 高学年グループ | 小学校4～6年生対象。子どもたちの意見を活かして工作等の活動を行う。4月に募集、5月から実施。 | 毎週水曜日(学校長期休業期間は行わない) |
| 小 | もくもくクラブ | 低学年グループに参加していない小学校1～3年生対象に、工作等を行う。 | 年10回程度 |
| 小 | 小学生対象講座 | 小学生高学年対象に講師を招いて講座を開く。 | 年1回 |
| 小 | 小学生対象ハイキング | 小学生対象で2回、遠足を行う。小学生グループ低学年、高学年お別れ遠足、夏期クラブの遠足を行う。高校生ボランティアを活用する。 | 年5回 |
| 小 | 新1年生歓迎会 | 小学校新1年生が児童館を利用する機会を設ける。ボランティアの協力を得て行う。 | 4月 |
| 小 | 夏期クラブ | 小学生を対象に、異年齢でのグループ活動によりを基本に工作やレクリエーション活動を行う。 | 7月か8月(宿泊あり) |

| 対象 | 事業名 | 内容 | 実施月・曜日・回数等（予定） |
|-----|------------------------|---|-------------------------------|
| 小 | ゴーストハンティング | 中・高校生世代のボランティアを依頼して地域探検を行う。 | 10月土曜日 |
| 小 | 星空観測会 | 大学生サークルの指導で星空観測を通じて天体への興味を促す。 | 11月 |
| 小 | 目指せナンバー1 ～ぬくいギネスの日～ | ギネスのテーマは日常的に来る子どもたちの意見を参考に決める、月間優秀者は児童館たよりなどで表彰する。毎回違う参加者が表彰されるように工夫する。 | 毎月、月間を通じて行う。 |
| 中高 | スペース@ヌクイ | 中・高校生世代の居場所、バンド室利用は予約制。講座等も適宜行う。 | 毎週金曜日 |
| 中高 | バンド・ドラムスクール | バンド室の利用のPRと音楽を通じた交流を図る。 | 年数回程度 |
| 中高 | 市民文化祭出演 | 中・高校生世代のバンド・ダンス等のグループが市民文化祭に出演することで、児童館の中・高校生世代の活動をPRし、活性化につなげる。 | 年1回（会議、リハーサルなどは3回行う）本番は10月の予定 |
| 中高 | 夏期クラブ作戦会議 | ボランティアリーダー希望者中心に、夏期クラブの企画を立てる。 | 4月、5月 |
| 中高 | 中・高校生世代合宿 | 中・高校生世代の意見を聞いて、交流を目的とした児童館での合宿を行う（館内宿泊）。 | 3月 |
| 中高 | 中・高校生世代日帰り行事（新規） | 中・高校生世代の意見を聞いて、交流を目的とした自転車での日帰り行事を行う | 1回 |
| 幼中高 | 中・高校生対象赤ちゃんボランティア | 中・高校生世代をボランティア対象とし、乳幼児やその保護者との交流を図る。 | 7、8月数回 |
| | 児童館ライブ | 乳幼児を持つ保護者を対象として、中・高校生世代のバンドやダンスのグループの演奏、演技を見てもらい交流を図る。 | 12月 |
| 小中高 | 子ども作戦会議 | 小学生～中学生を対象として、子どもの児童館への意見表明やそれを基にした主体的な活動の企画実施を目的として行う。 | 毎月2回（子ども会議がある月には行わない） |
| | 子ども会議 | 四館合同行事を企画、実施させるために、子ども作戦会議の場に設定する。 | 月2回程度（6月から） |
| | 高齢者や地域サークルとの交流行事 | 和風作りや将棋等公民館を利用する高齢者や地域サークルとの交流を図る。 | 年12回程度 |
| | 児童館周辺オリエンテーリング | 中・高校生世代ボランティアの協力で、児童館周辺でオリエンテーリングを行う。小学生対象 | 10月土曜日 |
| | 児童館えんにち | 児童館のグループや小学校～高校生、大人ボランティアによる出店 | 3月 |
| 大 | 利用者懇談会 | 日常的な利用者、自主グループ、関係団体、近隣住民と児童館や地域での子どもや子育てについて話し合い、意見をもらう。 | 年2回以上 |
| | ナオセルマン博士のおもちゃ病院 | おもちゃの病院グループスタッフによる、おもちゃの修理。随時受付 | 毎月第3水曜日 |

令和3年度 緑児童館事業計画

小金井市児童館運営基本方針、児童館ガイドライン及び小金井市子どもの権利に関する条例に基づき、以下のとおり令和3年度事業計画を策定します。また、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染対策を最優先し、事業の実施については、それに対応していきます。

1 乳幼児と保護者に対する事業

- (1) 地域の乳幼児と保護者の居場所作りを中心とした「子育てひろば事業」を、以下のとおり実施します。なお、子育てひろば事業の事業名は「ほのぼのサロン」とします。
 - ① 活動室のフリースペース化
学校休業日以外の毎週月曜日から土曜日までの午前10時から午後3時まで（土曜日は午後1時まで）、乳幼児と保護者の優先室とします。また、昨年度日常的に父親や家族そろっての参加が増えたことにも配慮します。
 - ② ひよこ（0歳児）
毎週木曜日に行く、0歳児と保護者の交流の場です。
 - ③ あそぼうよ（1歳児以上）
1歳児以上の交流会として、毎週水曜日に実施します。
- (2) 「地域の子育てをつなげていく」ことを掲げ、児童館で活動していた「先輩ママ」に、子育てひろば事業での講師・保育者・相談者として協力してもらいます。また、多くの子育て中の保護者が交流できるイベントも企画します。
- (3) 子育てひろばでは、食育・健康・図書・生活等、子育てや子どもに関する相談会、講習会を、保護者の意見を取り入れ、ボランティアや関係機関の協力を得ながら実施します。
- (4) 親子での交流を目的とした、保護者が主体的に運営する幼児グループを、2歳児以上として週2回行います。
- (5) 幼稚園世代の居場所作り及び保護者の交流のための事業を行います。
- (6) 保護者の子どものための自主活動を支援します。

2 小学生に対する事業

- (1) 自由来館の児童の1人1人に対して積極的に関わり、信頼関係を築きます。
- (2) 1年生から3年生までの低学年グループを、毎週火曜日の「火曜クラブ」と金曜日の「金曜クラブ」に分け、それぞれ実施します。
- (3) 4年生以上の高学年グループを、毎週水曜日に実施します。小学生の多様な趣味趣向に合わせていくために、彼らの意見を取り入れながら行います。
- (4) 行事の企画実施・指導に地域のボランティアの力を取り入れ、幅広い内容の活動を実施します。また、子どもたちの自主的な活動に対しても支援を行います。
- (5) 子どもたちが準備から実施まで関わる四館合同事業を、他の児童館と協力して実施します。
- (6) 子どもたちのアクティブな冒険心をかきたてる野外事業を行います。
- (7) 夏休みの特別事業として、夏期クラブをボランティアの意見を取り入れて、5日間の充実した内容を企画実施します。
- (8) 掲示板等も活用し、子どもたちの意見を行事に取り入れます。また、作画や創作など子どもたちが自由に行うことをサポートします。

3 中・高校生世代に対しての施策

- (1) 来館する1人1人と信頼関係を構築し、意見や要望に耳を傾けるように努めます。また、相談にも対応できるようにします。
- (2) 中・高校生世代のボランティアの受入れを積極的に行います。特に夏期クラブでは事前の企画から参加を募ります。
- (3) 活動室を中・高校生世代の優先的な居場所とし、ゆとりある空間を提供します。
- (4) 活動室は、乳幼児と保護者が利用することから、中・高校生世代と乳幼児との交流事業を夏休みに実施します。
- (5) 中・高校生世代の意見や要望には、ボランティア等の協力を得ながら事業につなげます。また自主的な活動の場を提供します。

4 相談事業及び子どもの問題に対しての地域や関係機関との連携した取組

- (1) 配慮の必要な子どもについては、問題の解決に向けて支援していきます。また、職員だけでの対応が難しい場合には、状況に応じて保護者やボランティアの協力を得ます。
- (2) 保護者からの子育てに関する軽易な相談や子ども自身からの相談を受けます。深刻な相談については、その後適切な機関とつながるように配慮します。また、その後の支援に努めます。
- (3) 地域の子育てや子どもたちに関わる人たちの拠点となり、様々な自主サークル（グループ）が交流も出来るような施設とし、そのための行事も行います。
- (4) 地域の大学生・青年ボランティアと子どもとの関わりを深めます。
- (5) 近隣の学校・子ども家庭支援センター・児童発達支援センター・主任児童委員・青少年健全育成地区委員会等の関係機関とよりよい関係を作ります。また、虐待またはその疑いのあるケースについては、子ども家庭支援センターに通報し、必要に応じて連携します。
- (6) 利用者懇談会を実施し、施設の運営や地域の子どもの問題、安全に対して、利用者だけでなくPTAや放課後子ども教室、子供会等、地域の子どもに係わる組織の人たちとも情報交換を行い、事業の連携や、互いの行事の日程調整等、地域との連携をとる場ともしていきます。
- (7) 子供会等、子どものために活動する地域の大人の組織に対し協力・連携をし、その活動の場の提供を行います。
- (8) 食育について、地域のボランティアや市内の生産者の協力を得て、乳幼児保護者対象には「家庭の食事を大切にしよう」をスローガンに、講座・イベント等を実施し、小学生対象には、環境や食材の知識を学べる事業を実施します。

5 子どもや利用者の安全を守るための取組

- (1) 館庭での火の取扱いや騒音には十分な注意をし、近隣の住民の方々に理解を得られるように配慮します。
- (2) 優良防火対象物認定施設として、防災への意識を高め、施設の整備には万全を期します。
- (3) 防災及び不審者対策とした訓練について、学童保育所と合同で3回、乳幼児を対象として館独自で3回、年計6回実施します。
- (4) 児童館施設安全管理及び緊急対応マニュアルを規範として、子どもたちの安全を図ります。

緑児童館令和3年度事業予定一覧

幼→乳幼児 小→小学生 中→中学生 高→高校生世代
大→(地域の)大人 表示なし→対象定めず

| 対象 | 事業名 | 内容 | 実施月・曜日・回数等 |
|----|---------------|---|---|
| 幼 | ほのぼのサロン | 親子での交流スペースの確保。乳幼児のつどい(①0歳児ひよこ②1歳児以上あそぼうよ)の実施。乳幼児のつどいでの誕生日会や読み聞かせ等の定例行事や季節行事の実施 | 月曜日から土曜日(一部実施しない日もあり)。①は毎週木曜日、②は毎週水曜日(土曜日の午後1時までについては、乳幼児と保護者の来館に対して優先室をもって対応する。) |
| 幼 | 子育て講習会 | 離乳食、おやつ、その他様々なテーマで地域のボランティアを講師に実施 | 毎月1回程度 |
| 幼 | 子育て相談会 | 健康、食事、救命、その他、市の健康課(保険師、歯科衛生士)、その他専門機関を招いての相談会の実施 | 年数回 |
| 幼 | アイテム交換会 | 児童館の利用者や地域の人から服や玩具等の不用品を提供してもらう。 | 季節ごと(年3回以上) |
| 幼 | 幼児グループ | 2～3歳児クラスを週2回実施。保護者が主体的に運営する子育ての共有の場。4月に募集、5月から実施。各週1回の活動(母親向け講座を1回予定)。3～4歳児の参加希望については受け入れる。 | 毎週火・金曜日(学校長期休業期間中は行わない) |
| 幼 | あつまれみどりっ子 | 近隣に幼稚園がなく、通園が拡散する現状の中で、幼稚園世代と保護者の地域の活動場所を確保することを目的として行う。 | 月1回 |
| 小 | 低学年グループ | 小学校1～3年生対象。工作やおやつ作り等を行う。火曜クラブ・金曜クラブを正式な名称とする。4月に募集、5月から実施 | 毎週火曜日、金曜日のどちらかに申込み(学校長期休業期間中は行わない) |
| 小 | 高学年グループ | 小学校4年生以上。工作やおやつ作り等を行う。4月に募集、5月から実施。4月に募集5月から実施 | 毎週水曜日(学校長期休業期間中は行わない) |
| 小 | 子ども会議 | 高学年グループの時間において、四館合同事業に向けての企画準備、練習を子どもたちが主体で行う。 | 月2、3回程度(合同事業に準ずる) |
| 幼小 | ロビンソンクラブ | 幼児3歳児から小学校3年生までを対象。工作やおやつ作り等。指導協力はロビンソンクラブ | 毎月1回月曜日(8月は行わない) |
| 小 | グリーンサンタの手作り工房 | 自主グループ「グリーンサンタ」の指導による、小学生を対象とした工作のつどい | 毎月1回月曜日 |
| 小中 | キッチンパーティ | ボランティアの指導による、料理やおやつ作りのつどい。小学校2年生以上 | 毎月1回土曜日(8月は行わない) |

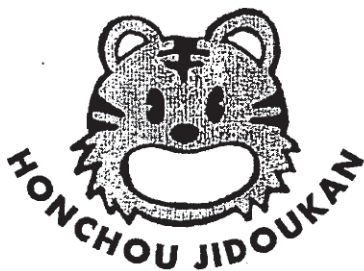
| 対象 | 事業名 | 内容 | 実施月・曜日・回数等 |
|-----|-----------------|--|--|
| | ナオセルマン博士のおもちゃ病院 | おもちゃの病院グループスタッフによる、おもちゃの修理 | 毎月第2月曜日（祝日の場合は翌火曜日）随時受付 |
| 幼小 | おはなしのとびら | ボランティアによる絵本や昔話の読み聞かせ等 | 毎週原則第2、第4木曜日（8月は行わない） |
| 幼小 | おはなしシアター | サークル「おはなしシアター」による、パネルシアターの上演等 | 年1回程度 |
| 小 | 新一年生歓迎会 | 鑑賞会と児童館の紹介 | 4月 |
| 小中 | 野外行事 | 年数回予定。夏はフィールドアスレチック、秋（又は冬）は未定、春は小学生グループ交流の遠足を予定 | 6月、11月、3月（時期回数は変更の可能性有り） |
| 小 | 夏期クラブ | 小学校1～6年生までを対象に、異年齢でのグループ活動を基本に工作やレクリエーション活動を行う。 | 7月後半（夏休み）の5日間（宿泊あり） |
| 小 | 食育講座 | ボランティアの協力を得て、エコをテーマに料理講習会を行う。また、市内の農生産者の協力で地場野菜を使用し、地産地消についての理解も学習させる。 | 年2回程度 |
| 小 | その他行事 | 子どもの権利にある子どもの意見表明を意識し、小学生以上の子どもたちの趣味やニーズにあった企画をボランティアの協力の元で実施する。 | 不定期 |
| | 児童館のみの市 | 児童館で活動している小学生から大人までのグループを中心に出店する子ども縁日 | 3月 |
| 小 | 自主グループの交流事業 | 利用者や地域の交流を目的に、様々な世代の子どもを持つ保護者が一同に会せる事業を、自主グループと共同で企画実施していく。 | 年1回程度（のみの市の中で行う） |
| 中高 | 中・高校生世代のフリースペース | 中・高校生世代の居場所の確保 | 通年 ①学校登校日放課後午後3時から ②乳幼児と保護者対象事業がある日は正午から ③上記以外は開館時間内すべて |
| 中高 | 夏期クラブリーダー会 | 夏期クラブのボランティアリーダーと企画等を決める | 7月1回 |
| 幼中高 | 乳幼児とのふれあい企画 | 中・高校世代と乳幼児との交流事業 | 8月 |
| 大 | 利用者懇談会 | 日常的な利用者、自主グループ、関係団体等と、児童館での子どもや子育てについて話し合い、意見をもらう。また連携した事業も実施していく。 | 2回以上 |

小金井市 児童館運営審議会 委員名簿

| 氏 名 | 選出区分 | 役 職 または 所 属 | 任期 |
|---------|---------|--|------------------------|
| 倉持 伸江 | 学識経験者 | 東京学芸大学 総合教育科学系教育学講座生涯教育分野 准教授 | 令和3年7月1日 ～令和5年6月30日 |
| 鈴木 順子 | 学識経験者 | 児童館ボランティアスタッフ経験者 | 令和3年7月1日 ～令和5年6月30日 |
| 大久保 美千子 | 学識経験者 | 小金井市子供会育成連合会二小・本町小ブロック長 | 令和3年7月1日 ～令和5年6月30日 |
| 高橋 秀樹 | 民生・児童委員 | 小金井市 民生委員・児童委員協議会 (会長会子育て支援部会担当) | 令和3年7月1日 ～令和5年6月30日 |
| 山田 礼子 | 民生・児童委員 | 小金井市 民生委員・児童委員協議会 (子育て支援部会代表部長) | 令和3年7月1日 ～令和5年6月30日 |
| 檀原 延和 | 学校教職員 | 小金井市立前原小学校長 | 令和3年7月1日 ～令和5年6月30日 |
| 山中 栄治 | 学校教職員 | 小金井市立小金井第一中学校長 | 令和3年7月1日 ～令和5年6月30日 |
| 木本 茜 | 公募委員 | 公募市民 | 令和3年7月1日 ～令和5年6月30日 |
| 小林 浩 | 公募委員 | 公募市民 | 令和3年7月1日 ～令和5年6月30日 |
| 三浦 大輝 | 公募委員 | 公募市民 | 令和3年7月1日 ～令和5年6月30日 |

この一年のあゆみ

(令和2年度)



みどりキッズヒーロー
みどりツチヨア



小金井市 本町児童館・東児童館・貫井南児童館・緑児童館

目次

| | | |
|-----|-------------------------------|----|
| I | 小金井市児童館運営基本方針 | 1 |
| II | 事業目標・この一年をふりかえって | 5 |
| 1 | 共通事業計画・この一年をふりかえって | 6 |
| 2 | 各児童館事業計画・この一年をふりかえって | 8 |
| III | 主な日常活動 | 24 |
| 1 | 乳幼児と保護者に対する事業 | 25 |
| (1) | 子育てひろば事業 | 26 |
| (2) | 幼児グループ | 26 |
| 2 | 小学生の活動 | 27 |
| (1) | 開館時間延長時の利用者数 | 27 |
| (2) | 小学生グループ | 27 |
| (3) | 夏期タラチ | |
| (4) | 合同行事 | 28 |
| ① | 移動児童館わんぱく号 | 28 |
| ② | ふうで児童館 | 29 |
| ③ | オンライン脱出ゲーム | 31 |
| 3 | 中・高校生世代の活動 | 33 |
| | 夜間開館事業とボランティア活動 | 33 |
| 4 | (支援の必要な子どもたちへの取組) | |
| 5 | 相談事業 | 34 |
| 6 | 食育の取組 | 35 |
| 7 | (大人の活動) | |
| 8 | 子ども週間行事、市民まつり子ども部門行事、新春たこあげ大会 | 37 |
| | 参考：冒険遊び場等健全育成事業(プレーパーク事業) | 38 |
| 9 | その他行事 | 39 |
| IV | 資料 | 51 |
| 1 | 利用状況 | 52 |
| 2 | 予算関係 | 54 |
| 3 | 施設概要 | 55 |
| 4 | 職員体制 | 55 |

【表紙写真】 「オンライン脱出ゲームにおける子ども会議の様子」

I 小金井市児童館運営基本方針



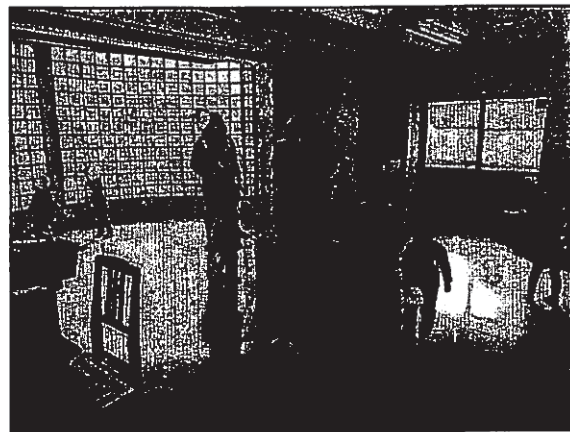
アートクラフトスクール（本町児童館）



自由来館の様子（東児童館）



もくもくクラブ（貫井南児童館）



羽子板遊び（緑児童館）

小金井市児童館運営基本方針

平成19年4月1日制定
平成31年4月1日一部改定

小金井市の児童館は、乳幼児と保護者への支援から、中・高校生世代への居場所作りまで、様々な施策を行っています。

児童館は、子ども一人一人が安全な環境の中で遊びを通して仲間との関わりの中で育つ、子どもの健全な成長を願う地域の人たちが手をつないだ地域の子育て、子育て、健全育成の拠点として、「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市子ども・子育て支援事業計画)、「小金井市子どもの権利に関する条例」、「改正児童館ガイドライン」(平成30年10月厚生労働省策定)に則し、以下のことを柱として児童館運営基本方針とします。

1 乳幼児の保護者に対する施策の充実

- (1) 「行きたいときに気軽に行ける場を」という強い要望に応え、乳幼児と保護者の居場所としての子育てひろば事業を充実させていく。
- (2) 子育てに関する相談や幅広い対応のため、他機関の協力も得ながら、専門家による相談事業や講習会を行っていく。
- (3) 保護者の主体的な活動を支援し、地域に子育ての輪を広げるために、幼児グループの活動を充実させていく。

2 小学生に対する事業の充実

- (1) 小学生、特に高学年の下校時間、来館時間に合わせた開館時間延長の試行を継続していく。
- (2) 子どもの自主性・創造性を育むために、異年齢同士の協力関係を作るために、小学生のグループ活動を各児童館の独自性を打ち出しながら行っていく。
- (3) 小学生の活動は、子どもの意見を取り入れながら、工作・料理・アウトドア活動など幅広く展開していく。
- (4) 文化・芸術・アウトドア(野外)等、幅広く魅力ある企画を実施するために、地域の人材やボランティアの協力を得る。
- (5) 小学生に対して創作、体力増進、異年齢集団での仲間作り等を主旨とした事業を行っていく。
- (6) 合同事業について、四館協力して実施していく。

3 居場所作りを中心とした、中・高校生世代に対する施策の充実

- (1) 中・高校生世代の居場所作りを基本とした夜間開館事業を含めて拡充していく。その中で、施設面を活かしながら、その世代の趣向に応じた事業も開拓していく。
- (2) 中・高校生世代を地域の重要な人材として捉え、日常的なボランティアとしての育成とともに、自主的な活動や社会参画を支援する。

4 相談事業及び子どもの問題に対する地域や関係機関との連携した取組

- (1) 子ども・保護者からの相談に対応できるよう相談事業に力を入れて行く。
- (2) 来館する子ども一人一人に日常的に目を向けて、子どもと信頼関係を築き、子どもまたは保護者とともに問題の解決を図っていく。
- (3) 虐待等の問題に対応するために、子ども家庭支援センターを中心とした市のネットワークの中で他機関と連携していく。
- (4) 地域の人材をボランティア又は講師として活用して幅広い事業を展開し、職員はコーディネーターとして、子どもとの橋渡しを行う。
- (5) 青少年健全育成地区委員会、学校、子供会、民生・児童委員等と今後も関係を強めていく。
- (6) 子育て支援や児童文化活動を行う各種の地域組織と連携していく。
- (7) 施設運営に際し、利用者及び地域の人たちからの意見、要望を取り入れ、また理解を得られるように、話し合う機会を設ける。

5 子どもや利用者の安全を守るための取組

- (1) 児童館施設安全管理及び緊急対応マニュアルを規範として、日常的に危機管理意識を持ち、防災、事故の抑制、不審者の対策にあたる。
- (2) 利用者や児童の参加による、災害・不審者に対応した訓練を実施する。
- (3) 地域の安全という視点で、防災や不審者対策については、必要に応じて地域団体等と連携していく。

オンライン脱出ゲーム

～サイバーミッション・ホームページからの脱出～

イベント開催期間：令和3年3月8日(月)～3月19日(金)

景品配布場所：市内各児童館（開館時間中、マスクを着けてきて下さい）

景品配布対象：小学生から高校生世代まで、各館先着50人
 （中でも早かった各館5人には特別賞があります！）





～サイバーミッション・ホームページからの脱出～は、ホームページから参加できる、児童館の子どもたちが問題を考えた脱出ゲームです。家でホームページを開いて謎を解き進め、最後のページまでたどり着いたら児童館に報告しよう！先着で景品がもらえます。インターネットでのホームページにアクセスし、ゲームに参加して下さい。オンライン環境がない人も参加できます。

参加方法 ①・②いずれかの方法で参加して下さい。

①小金井市ホームページ「遊ぶ・でかける」→「児童館」→「小金井市四館合同行事のお知らせ」→「オンライン脱出ゲーム～サイバーミッション・ホームページからの脱出～」にアクセスして下さい。
 QRコードから直接児童館のページにアクセスすることもできます。カメラで読み取ってください！

②オンライン環境がない人は、児童館館に電話して下さい。随時冊子を用意しています。

お問い合わせはこちら！

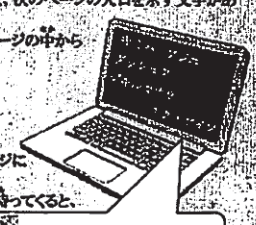
| | | | |
|---|--|--|--|
|  翠樹じどうかん 042-383-1176 |  栗じどうかん 042-383-1177 |  花井南じどうかん 042-383-9777 |  緑じどうかん 042-383-5910 |
|---|--|--|--|

デジタル世界の魔王 キク・ゲイツにより、

君たちはホームページを閉じ込められた

Mission キク・ゲイツと各館の子どもたちが出題する謎を解き進め、閉じ込められたホームページから脱出せよ！

- ①小金井市ホームページから「オンライン脱出ゲーム～サイバーミッション・ホームページからの脱出～」のコンテンツを開こう！
- ②最初の問題から順番に解こう！正しい答えがわかると、次のページの入口を示す文字がもらえるぞ！その文字をヒントに、児童館のホームページの中から次のページへの入口を探し出してクリックしよう！
- ③問題を解き進めて最後のページまでたどり着ければ、ホームページからの脱出成功！さらに、最後のページにたどり着いた証を印刷または写真にとって児童館に持ってくるぞ。先着で景品がもらえるぞ！



デジタル世界の魔王 キク・ゲイツ

児童館四館合同行事とは！

市内の子どもたちと児童館が一緒に作り上げる、年に一度のイベント！

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で大きなイベントが行えない状態なので、以前から子どもたちからの要望が高かった脱出ゲームをオンラインで実施することになりました！各館で子どもスタッフを募集し、月2回の子ども会議でアイデアを出し合って、面白い謎をたくさん考えました。子どもたちとキク・ゲイツからの挑戦をぜひお楽しみください！

また中には子どもたちの権利を侵害する「子どもの権利に関する条約」があり、この条約の中には、子どもたちが自分の意見や考えを表明することは権利であることが書かれています。児童館はそうした子どもたちの権利を守り、「やりがい」を実現させるための施設です。

Ⅱ 事業目標・この一年をふりかえって



ユニホックで遊ぼう（本町児童館）



わくわくキッズ（東児童館）



節分（貫井南児童館）



応急救命講習会（緑児童館）

令和2年度 小金井市児童館四館合同事業計画

小金井市児童館運営基本方針に基づき、以下のとおり令和元年度の合同事業について、四館協力しながら取り組みます。

1 乳幼児と保護者に対する施策

- (1) 市の子育てひろば事業の各課連携のメンバーとして、学童保育所及び他課と協力していきます。
- (2) 各児童館での子育てひろば事業における、利用者からのニーズの反映と幅広い広報の充実を図るために、定期的に担当者会議を行い、全体的な子育てひろば事業の向上を目指します。

2 小学生から中・高校生世代までを対象とする施策

- (1) 小学生の放課後の実情に合わせ、小学校4年生以上を対象とした開館延長の試行事業を継続します。
- (2) 野外体験や地域の環境保全の働きかけの場として、移動児童館事業を実施（年間9回）し、8月後半には「わんぱく団」を実施します（いずれも都立武蔵野公園くじら山周辺で実施）。
- (3) 「小金井市子どもの権利に関する条例」の条項を活かし、小学生以上の子どもたちが主体的にかかわる事業「じどうかんフェスティバル2019」を四館協力して行います。この事業の実施に当たっては企画・準備・運営のため子ども会議を各児童館で立ち上げます。なお、条例制定10年の節目の記念事業として行います。
- (4) 「子どもの権利」について、これまで以上に子どもたちに周知し、考える場を四館合同で設定します。
- (5) 地域の多くの中・高校生世代がボランティアとしてかかわれるように、館を越えた広い呼びかけを行い、地域の人材としての受け入れに努め、またボランティア同士が交流する機会を作ります。

3 その他

- (1) 「子どもの権利」については、子どもが主体となる施設として子どもたちだけでなく、地域の大人に広く浸透させていくための工夫を、各館協力して行っていきます。
- (2) 各児童館に意見箱を設置し、子どもたちから意見や要望を、所定の用紙に記入し、投函してもらいます。その内容について、回答を月1回館内に貼りだします。
- (3) 子どもや利用者に児童館をわかりやすく知ってもらうため、館内に事業の紹介やルール等の掲示、活動結果の展示を常にします。
- (4) 職員のスキルアップのための研修会を年2回実施します。

令和2年度 小金井市児童館のこの1年

～児童館の新型コロナウイルス感染症拡大防止について～

令和2年3月より始まった新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置はすべての事業に対して影響を及ぼしました。

令和2年3月当初から、公立学校の一部休校が始まり、その中での年度の切り替わりでしたが、新年度に入ると間もなく緊急事態宣言の影響で、4月4日より本町児童館と緑児童館が、同月11日より東児童館と貫井南児童館が順に休館となりました。

休館中は児童館合同で（委託館である東児童館は個別に）インターネットでの子育てや遊び等の情報配信を行いました。6月1日より2カ月ぶりに全館揃って開館できましたが、当初は子育てひろば事業と小学生以上の居場所の確保のみ（中・高校生世代の夜間開館は6月途中より実施）で、7月より徐々に「現状でできる」行事を行い、幼児グループや小学生のグループ活動は9月からようやく再開しました。

開館にともない、（子どもたち同士）密を避けること、毎日の消毒を始めとした衛生管理、利用者の検温・入退館の管理、さらに小学生以上の入館者のマスク着用等、日々所謂コロナ対策を徹底しました。

子どもたちの遊び方については、6月当初は静かに遊ばせるだけで、ボール遊びすら禁止にしましたが、日常的に家庭や学校でも「自粛」を求められてきた子どもたちが多少はそのエネルギーを発散させることも重要と考え、人数や換気等に注意しながら徐々に遊べることの数を増やしていきました。

それでもプロレスごっこのように、著しく複数が接触するような遊びや、友達どうしでのおやつ等の「会食」も禁止は続けました。特に食べることについては、最初自分が食べるおやつの持ち込みは許可していましたが、マスクをとる行為につながることやどうしても友達とやり取りをしてしまうことで、12月の途中から「飲み物」以外のすべての食べ物を持ち込むことを禁止しています。このことについては乳幼児と保護者対象の事業でも、ほぼ同じ対応をしています。

グループ活動や行事については、会食だけでなく調理もすべて禁止とし、原則として参加者（定員）数もこれまでのほぼ半数に減らしました。また、夏期クラブ・わんぱく団といった夏休み恒例の大型事業や春秋での遠足といった野外事業も中止で、原則月1回の移動時間事業についてだけ、9月より規模を縮小して実施しました（1月は緊急事態宣言の影響で中止）。

毎年恒例とした合同事業「じどうかんフェスティバル」は、元々大きく内容を変える予定でしたが、他の合同事業同様に大人数を集めるイベントは難しいとなり、代替え事業として、休館期間に行ったインターネット（リモート）の活用をヒントに、各児童館で子どもたちと一緒に考えた、今流行りの「謎とき」を市のホームページを利用して市内の小学生にやってもらうことを実施しました。

どの児童館も行事や参加者数を大きく削ったことを割り引けば、利用者数は例年に比べ、決して少なくなっただけではありませんでした。他の地域のスペースや事業が閉鎖または中止となる場所が多い中で、「居場所」として重要な役割を担ったといえます。

令和2年度 本町児童館事業計画

小金井市児童館運営基本方針に基づき、以下のとおり令和2年度事業計画を策定します。施設及び事業の運営については、令和2年度も引き続きほんちょう学童保育所と施設の一部の共用化を図るなど、互いに協力しながら行っていきます。

すべての事業において「子どもの権利」を意識し、子どもたちの声に耳を傾け、その主張や発想を取り入れていきます。

1 乳幼児と保護者に対する事業

- (1) 地域の乳幼児と保護者の居場所作りを中心とした「子育てひろば事業」を、以下のとおり実施します。
 - ① 「乳幼児のつどい」として、遊戯室を月曜日、水曜日、木曜日の午前10時から午後2時まで開放します。
 - ② 月曜日は「0～2歳児」、水曜日は「1歳児」、木曜日は「0歳児」と曜日ごとに年齢別の交流会を実施します。
- (2) 自由遊びのできる部屋より利用しやすいスペースとなるように工夫します。
- (3) 子育てひろばでは、食育・健康・生活・読書推進活動として絵本の紹介等、子育てや子どもに関する講座や相談会を、保護者の意見を取り入れ、地域の人材や市の関係機関の協力を得ながら実施します。
- (4) 父親の子育てへの参加を支援するための事業を実施します。
- (5) 親子での交流を目的とした、保護者が主体的に運営する幼児グループを、2歳児以上合同として週2回行います。
- (6) 幼児グループの保護者の自主活動と交流の促進を図ります。またグループ同士の情報交換会を実施します。
- (7) 幼児を持つ保護者同士の交流を支援します。また、幼稚園児世代対象の事業を、その保護者やOBのボランティアの協力によって実施します。

2 小学生に対する事業

- (1) 自由来館の児童の1人1人に対して積極的に関わり、信頼関係を築きます。
- (2) 1年生から3年生までの低学年グループを、毎週火曜日と金曜日の2回それぞれ実施します。
- (3) 4年生以上の高学年グループを、毎週水曜日にチャレンジグループとハンドメイドグループに分けて実施します。
- (4) 子どもに関わっている自主的グループを支援し、行事の企画実施・指導に地域のボランティアの力を取り入れ、幅広い内容の活動を実施します。
- (5) 子どもたちが準備から実施まで関わる四館合同事業を、他の児童館と協力して実施します。
- (6) ダンス、スポーツ等で異年齢の子どもが交流できるよう、遊戯室を有効に活用し、行事としても取り入れていきます。
- (7) 夏休みの特別事業として、夏期クラブをボランティアの意見を取り入れて、5日間の充実した内容を企画実施します。

3 中・高校生世代に対しての施策

- (1) 来館する1人1人と信頼関係を構築し、意見や要望または相談にも対応できるように努めます。
- (2) 中・高校生世代のボランティア、職場体験実習を積極的に受け入れます。特に夏期クラブでは事前の企画から参加を募ります。
- (3) 土曜日や開館延長時では活動場所を確保し、居場所づくりを行います。また異年齢の子どもたちと触れ合うことのできる環境を整えます。
- (4) 乳幼児との異世代交流事業として、8月の乳幼児のつどい、学校休業日にボランティアとして参加を募ります。
- (5) 中・高校生世代の意見や要望は、ボランティア等の協力を得ながら事業につなげます。特に、「四館合同事業」やライブ活動に多くの参加を募り、その自主的な活動の場を提供します。

4 相談事業及び子どもの問題に対しての地域や関係機関との連携した取組

- (1) 配慮の必要な子どもについてはその保護者に協力を得ながら、ほかの子どもと関わられるように援助していきます。また、職員だけでの対応が難しい場合には、状況に応じて保護者やボランティアの協力を得ます。
- (2) 保護者からの子育てに関する軽易な相談や子ども自身からの相談を受けます。深刻な相談については、その後適切な機関とつながるように配慮します。また、その後の支援に努めます。
- (3) 地域の子育てや健全育成に関わる人たちの拠点となるような施設を目指します。特に、大学生・青年ボランティアと子どもとの関わりを深めます。
- (4) 子どもに関係する様々な自主サークル（グループ）を支援し、児童館でその力を発揮する機会を作ります。
- (5) 近隣の学校・子ども家庭支援センター・児童発達支援センター・主任児童委員・青少年健全育成地区委員会等の関係機関とよりよい関係を作ります。また、虐待またはその疑いのあるケースについては、子ども家庭支援センターに通報し、必要に応じて連携します。
- (6) 利用者懇談会を実施し、施設の運営や地域の子どもの問題、安全に対して、利用者はもとより近隣や地域組織の方々からも意見をいただく機会を設けます。
- (7) 子供会等、地域の保護者の組織に対し協力・連携をしていきます。その活動の場についてもできるかぎり提供できるように配慮します。
- (8) 食育については、地域のボランティアや市内の生産者の協力を得て、乳幼児の保護者対象に講座、イベント等を実施します。また、小学生に対しても環境や食材の知識を学べる事業を実施します。

5 子どもや利用者の安全を守るための取組

- (1) 館庭での火の取扱いや騒音には十分な注意をし、近隣の住民の方々から理解を得られるように努めます。
- (2) 優良防火対象物認定施設として、職員のスキルのアップ、施設の整備には万全を期します。
- (3) 防災及び不審者対策とした訓練について、学童保育所と合同で3回、乳幼児を対象として館独自で3回、年計6回実施します。
- (4) 児童館施設安全管理及び緊急対応マニュアルを規範として、子どもたちの安全を図ります。

令和2年度 本町児童館のこの1年

他の児童館同様に新型コロナウイルスの感染症対策に努めた一年となりました。令和2年度はコロナ禍で地域の放課後子ども事業が行えなかったり、遊び場も限られたために、小学生以上の子どもたちの地域の貴重な遊び場・居場所となったようです。

できるかぎり、年間で計画した事業を可能な限り行えるようにしました。隣接している児童公園の遊具にも使用禁止のロープが張られ、近隣の遊び場や施設が休館、休業する中、児童館の開館については利用する方より本当にありがたかった等の声をもらいました。

1 乳幼児と保護者に対する事業（子育てひろば事業・幼児グループ）

例年どおり子育てひろば事業「乳幼児のつどい」は、交流会や季節行事などを行い、午後2時までのフリースペースとしました。昼食をとることを禁止したため、午後は著しく利用者が減りました。

今年度の本町児童館の子育てひろば内で見られた特徴として、0歳児のつどいに参加する保護者の多くが育児休業中であつたり、まもなく就職活動を行う予定であつたりすることで、必然的に1歳児以上のつどいになると人数が減りました。

コロナ禍でスタートを9月からにしたためか幼児グループも参加者が減少しました。保育園に入る子どもが増えたことや、幼稚園の2歳児対象の「プレ幼稚園」に通う子どもが増えたのもその理由です。結果的には、どの曜日の活動も少人数になったことで、子どもたち同士で友達を作りやすく、活動に早く慣れたという意見も聞かれました。

昨年度まで行っていた幼児対象のクッキングイベントや楽器等での音楽会などはすべて中止となりました。

2 小学生に対する事業

6月の開館再開以降、徐々に来館者も増えだし、いつのまにかコロナ前と変わらない、子どもたちの元気な姿が戻っていました。

児童館で一番広い遊戯室は来館した子どもたちで溢れてしまったことで、時間交代制での利用としました。密を防ぐことや激しい遊びを禁止したことで、時間だけでなく、スペースも防球ネット等で分割し、片側には机をいくつか置きました。反対側には卓球台を置き、以前から人気のあつた卓球だけは、距離がとれるのでできるようにしました。ですがやはりそこには子どもたちが殺到しました。

数年前までは自由来館児童がとて多い児童館でしたが、本町小学校での校庭開放が始まり、放課後子ども事業が充実してきたこともあつて、子どもたちの行き場が広がった影響で、来館者数も減少傾向にありました。

ですが、冒頭でも述べた理由により、6月以降又増えだし、9月の後半になると特に水曜日は、全学年共に下校時間が早いこともあり、一斉に来館することで密を回避できない状態になりました。これを危惧した結果、本町児童館独自ルールとして水曜日の利用に関して、学年で利用開始時間を分けることとし、午後2時から午後4時までが小学校4年生以下、午後4時以降が小学校5年生以上の利用としまし

た。その成果があつて、10月からは利用人数も落ち着きましたが、利用時間に制限を設けたことについて、子どもたちからも保護者からも反対意見もなく、素直に受け入れてくれたことは、大変ありがたいことでした。

子どもたちの様子については、コロナ禍ということもあり、これまで以上に注視してきました。コロナ禍で久しぶりに来館した子どもたちの中には、雑談の中からそれぞれが抱える悩み等を把握できることも多く、一人ひとりを見守ることの重要性を改めて感じました。

グループ活動や行事についても人数を減らし、できることを工夫しながら行いました。四館合同事業として取り組んだ「オンライン脱出ゲーム」に高学年グループの子どもたちがスタッフとして活躍してくれたことはうれしい限りです。

3 中・高校生世代に対する事業

中学生は、部活動が休みの平日や土曜日、本町ゲームショウというイベントの日、中間考査・月期末考査前後になると多く来館しました。小学校の時からよく通ってきていた子どもたちがほとんどですが、近隣中学校のバレー部ではボランティア活動にも力を入れていることで、小学生の遊び相手をしてくれる中学生が度々来てくれました。

令和2年度はコロナ禍ということもあり、ボランティアの募集を積極的に行う事業は中止となりました。時々自主的に顔を出し、児童館の様子を伺いに来てくれた高校生もいましたが、彼らの活躍の場を持てなかったことは非常に申し訳なくも思います。中学生から大人まで多くの若者がボランティアとして関わってくれました。大勢のボランティアと行う事業はまだ少し先になると思いますが、関係を持ち続けるようにしていかなければと考えます。

4 地域や関係機関との連携した取組

地域のボランティア力に協力してもらった多くの行事等を中止としましたが、特にこれまで関わりを持ってきた、いくつかの大学サークルとの関係が途絶えたのは残念なことの一つです。大学生に限ったことではありませんが、やはりコロナ禍での大人の団体のボランティアの受け入れに関しては、やはり慎重にならざるをえませんでしたが、中には自主的に参加を控えられた団体の人たちもいました。食育等、今できない事業についてはいずれ出来るようになると思えますが、一旦途絶えたボランティア団体と、どうまたこれまでのように関係性を作っていくかの方が課題と考えます。

民生・児童委員はコロナ禍での児童館を利用する子どもたちの様子を気にかけて、様子をのぞきに來てくれたりしました。今後も子どもたちのために関係機関等と良い関係を保つようにしていきます。

令和2年度 東児童館事業計画

小金井市児童館運営基本方針、児童館ガイドライン改訂及び「小金井市子どもの権利に関する条例」に基づき、以下のとおり令和2年度の事業計画を策定します。

すべての事業において「子どもの権利」を意識し、子どもたちの声に耳を傾け、その主張や発想を取り入れていきます。

1 乳幼児と保護者に対する事業

(1) 常設子育てひろば

- ① 乳幼児とその保護者が自由に交流を図れる居場所として、また、地域の情報を提供するために、月曜日から土曜日の午前10時から午後4時まで職員を配置して実施します。
 - ② 毎月、手遊びや誕生日会、おはなし会等を行います。
 - ③ 食育、健康、趣味等の保護者対象の講座、相談会を月1回程度実施します。
 - ④ 近隣公園等での「出張ひろば」を実施します。
 - ⑤ 子育て中の父親の交流の場、育児参加のきっかけの場として行事を実施します。
- (2) 親子それぞれの交流を目的とした、保護者が主体的に運営する幼児グループを、2歳児グループを週2回、3歳児グループを週1回行います。
 - (3) 幼児グループの参加者を対象に、子育てに関する講座を年2回実施します。
 - (4) 幼稚園世代を対象とした事業として、長期休みに、施設開放や遊びの提供等を行います。
 - (5) 幼稚園世代を対象に、地域のボランティアや自主グループによる行事を行います。

2 小学生に対する事業

- (1) 自由来館の児童の1人1人に対して積極的に関わり、信頼関係を築きます。
- (2) 1年生から3年生までを対象とした低学年グループを火曜日・金曜日に実施します。
- (3) 4年生から6年生までを対象とした高学年グループを、子どもたちの意見を取り入れながら水曜日に実施します。
- (4) 子どもたちが準備から実施まで関わる四館合同事業を、他の児童館と協力して実施します。
- (5) 行事の企画実施・指導に、地域のボランティアや自主グループ、近隣の大学の力を取り入れ、幅広い内容のまたは連携した事業を実施します。
- (7) 夏休みの特別事業として、夏期クラブを企画し、ボランティアの意見などを取り入れながら、5日間充実した内容で実施します。
- (8) 掲示板等を活用し、子どもたちに分かりやすく子どもの権利についての周知を図ります。可能な限り子どもの意見を取り入れながら事業を実施します。

3 中・高校生世代に対しての施策

- (1) 来館する1人1人と信頼関係を構築し、意見や要望または相談に対応できるよう努めます。

- (2) 週1回(水曜日)午後8時まで開館し、中高校生タイム「ふれいす HIGAJI」を実施し、中・高校生世代の居場所作りを目指します。
- (3) 中・高校生世代が地域や外に目を向け、自分たちで企画、実施することで参画する立場へのステップアップを目指す「とびだせ!中高生」を実施します。
- (4) 中・高校生世代が自分たちで企画、実施する宿泊行事を行います。
- (5) 中・高校生世代が地域のボランティアリーダーとなるように育成を図ります。
- (6) 料理教室などの事業を中・高校生世代の意見を取り入れながら、実施します。
- (7) 講座等の実施には、地域のボランティアや専門家の協力を得ます。
- (8) 中・高校生世代と乳幼児ふれあい事業を、子育てひろばと連携し、保育の専門家の協力を得て実施します。
- (9) 四館合同行事での発表・製作に向けて、多くの参加を募り、その自主的な活動の場を提供します。

4 相談事業及び子どもの問題に対しての地域や関係機関との連携した取組

- (1) 配慮の必要な子どもについては、その保護者や学校と連絡をとりながら、ほかの子どもと関われるように援助していきます。また、職員だけでの対応が難しい場合には、状況に応じて保護者やボランティアの協力を得ます。
- (2) 保護者からの子育てに関する軽易な相談や子ども自身からの相談を受けます。深刻な相談については、適切な機関とつながるように配慮します。また、その後の支援に努めます。
- (3) 専門相談として、子育て相談(臨床心理士)、思春期相談(臨床心理士)を毎月1回(3枠)行います。
- (4) 近隣の学校・子ども家庭支援センター・児童発達支援センター・主任児童委員・民生児童委員・スクールソーシャルワーカー・青少年健全育成地区委員会等の関係機関と密接な連携を図ります。また、虐待またはその疑いのあるケースについては、市を通して子ども家庭支援センターに通報し、必要に応じて連携します。
- (5) 子どもに関係する地域団体や自主グループを支援します。
- (6) 施設の運営や地域の子どもの問題、安全に対して、利用者はもとより、近隣や地域組織の方々からも、意見をいただく機会として利用者懇談会を実施します。
- (7) 乳幼児から小学生までを対象に、食育を目的とした、市内の生産者との交流や、地域のボランティアの協力による環境に配慮した料理教室を実施します。
- (8) 児童館の利用者やボランティアグループ、地域の子どもの育成を担う方々と、東児童館運営会議を開催し、児童館事業の充実化を図ります。
- (9) ホームページ等を活用し、事業の広報を行います。

5 子どもや利用者の安全を守るための取組

- (1) 館庭での火の取扱いや騒音には十分な注意をし、近隣の住民の方々に理解してもらおうよう配慮します。
- (2) 防災及び不審者対策とした訓練について、学童保育所と合同で3回、乳幼児を対象として館独自で3回、年計6回実施します。
- (3) 児童館施設安全管理及び緊急対応マニュアルを規範として、子どもたちの安全を図ります。

令和2年度 東児童館のこの1年

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響のための休館中には、独自に工作やゲームの動画配信や、乳幼児の保護者対象の電話事業などを行い、児童館に来られない乳幼児の保護者や小学生以上の子どもたちとの関係をできるだけつなぐように試みました。6月の開館再開後はまた多くの親子や子どもたちが戻ってきましたが、「開館してくれてうれしい」という声も多く、地域の居場所として重要な役割を担っていることを再認識しました。

1 乳幼児と保護者に対する事業（子育てひろば事業・幼児グループ）

子育てひろば「ばおばお」は、新型コロナウイルスの影響のため、昨年度よりも利用者が減りましたが、自宅で仕事をする父親が増えたため、父親の来館が多くありました。「離乳食講座」は調理ができなかったため、講師の話聞くのみの講座で実施しましたが、「講師の話をつくりと聞いて日頃の離乳食の不安が消えました。」という意見があり、講座の目的は達せたと感じています。

休館中は、ひろば担当の職員が自宅で過ごす乳幼児の保護者に対し、電話での話し相手となる「ふたりごと☆ばおばお」を行いました。初めての試みでしたが、子育てひろばでの対応と同じように、保護者の気持ちに寄りそうよう心掛けて対応しました。

9月から開始した幼児グループは、他の児童館同様に例年よりも活動内容に制限が多くありましたが、参加者から様々な意見をもらいながら、できる限りの活動を進めていきました。また、子どもたちが使用した遊具を活動後に保護者に消毒してもらいましたが、毎回快く行ってくれました。なお、活動は2歳児グループ2つで、3歳児グループは、今年度も申込みがありませんでした。

例年幼稚園の長期休暇期間に行ってきた、幼稚園児世代対象事業「おいでよ！3・4・5・6」は、密を避けるために申込みを2部制にして例年よりも少ない人数で行い、名称も「ちょこっと3・4・5・6」としました。

2 小学生に対する事業

低学年グループは人数を分けることはせず、全体で隔週での実施にしました。座る位置をマスキングテープでわかりやすく示し、距離をとりながら行いました。高学年グループは少人数のため毎週行いました。両グループとも活動内容は工作が主で、料理は行いませんでしたが、さつまいも掘りに出かけました。

自由来館は3年、4年、6年の利用が多く、2年生は2学期から遊びに来だし、1年生の利用においては冬頃までほぼありませんでした。1学期はカードゲームや携帯ゲーム、折り紙などで静かに遊んでいました。高学年では卓球が流行しました。全体的に3学期頃から徐々に来館人数は増えました。

高学年グループは四館合同行事「オンライン脱出ゲーム」のための「子ども会議」のメンバーの中心になりました。4年生が積極的に取り組み、実際に全

体のゲームにも参加していました。

3 中・高校生世代に対する事業

毎週水曜日の夜間開館事業「ぷれいすH I G A J I」は、6月の3週目から再開しました。再開直後は多くの中学生の参加があり、卓球やバレーボールなどで遊んでいました。また大学生ボランティアにギターを教わる中学生もいました。年末頃からは新型コロナウイルスを身近に感じ始めたのか、参加人数が減りました。3月には来年度に向けて作戦会議を行い、映画上映やゲーム大会などの案が出ました。

「ひがじハローワーク」と題して、様々な職業の人の話を聞く講座を2回行いました。特に高校生はそれぞれの仕事内容について熱心に話を聞いていました。

「マンガイラスト教室」では、講師の大学生が来られなかった際に、漫画家を目指す高校生が講師代理を務めました。

今年度はボランティアをする機会がほとんどなかったため、大きなイベントなどを再開する際に中・高校生世代のボランティアをどう確保していくかが今後の課題と考えます。

4 専門相談事業

思春期相談、子育て相談を毎月各1回行いましたが、臨時休館中は中止にしましたが、再開後思春期相談は毎月3枠全て予約で埋まりました。

子育て相談については予約のっていない時間は臨床心理士が、自分の立場を公表した上で、子育てひろば内で利用している保護者と気軽に話をしています。児童館として専門相談の広報に力を入れ、利用者にとっての専門相談へのハードルを下げる必要から始めたことですが、専門家と気軽に話ができただことで、保護者からも好評でした。

5 地域や関係機関との連携した取組

今年度の「東児童館運営会議」は、コロナ禍の子どもや利用者の意識調査の結果をもとに健全育成地区委員や主任児童委員の方と意見交換を行いました。

児童館として、いかに有事の中で子どもの権利を保障していけるかについて考える良い機会となりました。

コロナ禍ということで、感染対策のために検温や子どもの行動管理等、例年以上に子ども個々の様子に注視し、保護者との対話も例年以上に重視しました。子どものストレスについては、やはり児童館でも色々感じたことは多くありましたが、主任児童委員が子どもの様子を気にして訪問してきたこともありました。協力を得ながら児童福祉施設としての役割を果たすべく努めました。

子どもが主役の児童館として、改めて子どもの権利についても考え、子どもと向き合うことを大事にした一年でした。

なお、コロナ禍とは別ですが、子ども家庭支援センターから子どものことで連携を求められました。

令和2年度 貫井南児童館事業計画

小金井市児童館運営基本方針に基づき、以下のとおり令和2年度の事業計画を策定します。

すべての事業において「子どもの権利」を意識し、子どもたちの声に耳を傾け、その主張や発想を取り入れていきます。

1 乳幼児と保護者に対する事業

- (1) ボランティア等の協力を得ながら、地域の乳幼児と保護者が交流を図るため、「子育てひろば事業」を実施します。
- (2) 「乳幼児のつどい」は、遊戯室を月曜日、木曜日、金曜日の午前10時から午後1時30分までのフリースペースとします。月・金曜日は「0～2歳児」、木曜日は「0歳児」と曜日ごとに年齢別の交流会を実施します。
- (3) 子育てひろばでは、食育・健康・読書活動等、子育てや子どもに関する相談会や講習会を、保護者の意見を取り入れ、ボランティアや関係機関の協力を得ながら実施します。
- (4) 父親の子育て参加を支援するための事業を年10回土曜日に実施します。
- (5) 親子での交流を目的とした、保護者が主体的に運営する幼児グループを2歳児以上として週2回行います。
- (6) 3～5歳児の活動を、幼児グループ経験者や、地域のボランティア等の協力によって実施します。3～5歳児対象の遊戯室の自由開放の日を設けます。

2 小学生に対する事業

- (1) 自由来館児の1人1人に対して積極的に関わり、信頼関係を築きます。
- (2) 低学年グループ(小学校1年生～3年生)を、火曜日に週1回実施します。
- (3) 高学年グループ(小学校4年生～6年生)を、水曜日に週1回実施します。
- (4) 低学年グループに入っていない小学校1年生～3年生を対象に、月1回程度行事を行います。
- (5) 子どもに関わっている自主的グループを支援し、行事の企画実施・指導に地域のボランティアの力を取り入れ、幅広い内容の活動を実施します。公民館併設の利点を活かし、高齢者や地域サークルに協力を仰ぎ、様々な行事を実施します。
- (6) 子どもたちが準備から実施まで関わる四館合同事業を、他の児童館と協力して実施します。
- (7) 夏休みの特別事業として、「夏期クラブ」をボランティアの意見を取り入れて5日間の充実した内容を企画実施します。

3 中・高校生世代に対しての施策

- (1) 来館する1人1人と信頼関係を構築し、意見や要望に耳を傾けるように努めます。
- (2) 中・高校生世代のための夜間開館事業「スペース@ヌクイ」を、毎週金曜日午後4時から午後8時まで行い、居場所作りを中心とした活動を行い

ます。

- (3) 中・高校生世代のボランティアを積極的に受け入れるとともに、夜間開館事業において、中・高校生世代のボランティアを養成する講座を行い、中・高校生世代が企画する小学生行事の実施につなげて異年齢交流を図ります。また、夏期クラブでは事前の企画から参加を募ります。
- (4) 中・高校生世代の意見や要望を反映して、講座等の事業につなげていきます。
- (5) バンドスタジオを中・高校生世代の音楽活動の場として開放します。市内の高校生への広報を工夫していきます。
- (6) 音楽活動、ダンス等での利用の促進、さらに同様の目的で自主的に活動するグループを支援し、その発表の機会を作ります。

4 相談事業及び子どもの問題に対しての地域や関係機関との連携した取組

- (1) 配慮の必要な子どもについては、その保護者に協力を得ながら、ほかの子どもと関われるように援助していきます。また、職員だけでの対応が難しい場合には、状況に応じて保護者やボランティアの協力を得ます。
- (2) 保護者からの子育てに関する軽易な相談や子ども自身からの相談を受けます。深刻な相談については、その後適切な機関とつながるように配慮します。また、その後の支援に努めます。
- (3) 近隣の学校・子ども家庭支援センター・児童発達支援センター・主任児童委員・青少年健全育成地区委員会等の関係機関とよりよい関係を作ります。また、虐待またはその疑いのあるケースについては、子ども家庭支援センターに通報し、必要に応じて連携します。
- (4) 利用者懇談会を実施し、施設の運営や地域の子どもの問題、安全に対して、利用者はもとより、近隣や地域組織からも意見をいただく機会を設けます。
- (5) 子ども会等子どものために活動する地域の大人の組織に対して協力・連携をし、その活動の場の提供を行います。また、併設の公民館とも連携して事業を行っていきます。
- (6) 食育について、地域のボランティアや市内の生産者の協力を得て、乳幼児の保護者や小学生以上の子どもたちに対して、環境や食材の知識を得られる講座や行事を実施します。

5 子どもや利用者の安全を守るための取組

- (1) 館庭での火の取扱いや騒音には十分な注意をし、近隣の住民から理解を得られるよう努めます。
- (2) 防災及び不審者対策とした訓練について、地域組織と合同も含め小学生以上を対象に3回、乳幼児を対象として館独自で3回、年計6回実施します。
- (3) 児童館施設安全管理及び緊急対応マニュアルを規範として、子どもたちの安全を図ります。

令和2年度 貫井南児童館のこの一年

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の中、子どもたちのためにできることを模索した1年でした。

コロナ禍の状況で大きな行事はできなかったものの、個々の子どもたちと向き合う時間が増えたので、子どもたちから受けた意見を拾ってできることを日常活動に取り入れてきました。

1 乳幼児と保護者に対する事業（子育てひろば事業・幼児グループ）

子育てひろばは、再開後2歳児から徐々に利用が増えていきました。また1月からの緊急事態宣言中は、ひろばの利用者が減ることはなく、一定の利用がありました。ただ、1歳児以上の常連の親子の利用が大半で、0歳児の利用が少ない1年でした。

また今年度のひろばの傾向として、在宅勤務の父子が平日に利用したり、育児休業中の親子が保育園自粛のため来館したといったことがありました。集団検診の中止で、近い年齢の子どもとの保護者と話す機会がないために来たといった話も聞きました。

緊急事態宣言の中で、ひろばに来ていいのか自問し、感染を恐れて家の中で過ごしていたと聞くこともありました。家族以外の人と話していない人もいたので、ひろばで保護者同士が会話できるよう心掛けました。

幼児グループは火曜日と水曜日で9月から実施しました。申込人数が少なかったため全員で運営しながら活動しました。

2 小学生に対する事業

児童館が再開した6月は、小学校高学年が大半で低学年はほとんど来館しませんでした。当初児童館では休館中に職員が手作りしたゲームなどで室内で静かに遊ぶようにしていました。例年男子の利用が多いのですが、元気な子どもたちは公園で遊ぶことが多く、女子の友達同士での利用が目立ちました。普段は友達の家などで遊んでいるが、友達を家の中で遊ぶのを控えて来館しているという子どももいました。一年間を通じて小学校4年生が多く、大体同じ顔触れの子どもがよく遊びに来ていました。

小学生対象の行事は、参加人数を絞り、内容は個別にできる工作等を主に行いました。夏休みは職員が工夫を凝らして工作の行事を行いましたが、大きなイベントがないためか多くの申込みがありました。9月からは定例行事を復活させました。将棋の行事は、なぜか定員を設ける前よりも参加希望者が増えてキャンセル待ちが多かったため、年度途中から2部制にしました。また「子ども作戦会議」という月2回実施した行事では、子どもたちの意見からできることを探して、クイズやカードゲーム大会などを実施し好評でした。投書した意見を行事として実施することが次第に浸透してきてからは、行事についての要望が投書箱に多く集まりました。

グループ活動は各グループとも、活動は工作や外遊びを中心に行いました。低学年グループでは、高校生がボランティアとして関わってくれました。また高学年グループでは、水曜日の午後は自由来館の子どもが大変多く、高学年グループの活動する場所がないので庭にテーブルを出して実施したこともありました。子どもたちの意見でボランティアの協力によりグループで庭に小屋を建てたり、ボードゲーム

を製作したりしました。四館合同行事に向けてのクイズ作成については、緊急事態宣言の期間中で児童館に来られない子どもが多く、残った子どもたちが知恵を絞って考えてくれました。

3 中・高校生世代に対する事業

中・高校生世代は全体的な利用者は減りましたが、下校の早い日などは友達を誘って来館する中学生が多く、小学生の利用者数よりも多い日もありました。夜間開館は特定の高校生たちが終わりの時間まで利用し、中学生は早目に帰宅する子どもが大半でした。

自由来館は、中学生の利用が大半でした。児童館でバスケットボールや卓球など自主練する姿も見られました。友達とボードゲームや宿題を持参して来る中学生もいました。小学生の時からよく来館していた中学生が多く、小学生たちと一緒にドロケイなどの遊び相手をしてくれる子どももいました。また小学校低学年グループや移動児童館等のボランティアをしてくれる中・高校生もいました。

夜間開館事業は利用者が減少しました。スタジオは8月から再開しましたが、夜のスタジオ利用がほとんどなく、日中利用する中学生も遅くならないように午後6時までには帰宅していました。今年度は人気がある調理やスタジオでの行事ができず、講師の指導で工作中心に行事を行いました。利用者は少なくほぼ固定だったので、職員と一緒に話をしたり、空腹を我慢しながら大学生ボランティアが持参した人気のボードゲームやゲーム機で遊ぶことも多くありました。

スタジオは、人数制限が厳しいことや学校での文化祭や部活動の中止もあり、利用は減りました。それでも学校で行うイベントが近いときに、久しぶりにスタジオに集中的に練習に来た高校生もいました。バンド全体で合わせての練習が思うようにできないという話も聞きました。ギターやベースは家でも練習できるので、ドラムの個人練習での利用が大半でした。一方、年度末から中学生がスタジオ利用の中心になってきたので、彼らの意見を聞きながら運営をしていきたいと考えています。

4 地域や関係機関との連携した取組

一年を通じて地域を巻き込む行事等は実施できず、地域組織との関わりはほとんどありませんでした。個々でボランティアしてくれる人との交流はありましたが、今後どのように従前の関係を継続していくかが課題です。一方、乳幼児の親子から中・高校生世代まで、人間関係を築くことが難しい状況の中で家庭や友人関係等の相談が数件あり、子ども家庭支援センターと関わったケースもありました。

令和2年度 緑児童館事業計画

小金井市児童館運営基本方針に基づき、以下のとおり令和2年度の事業計画を策定します。

すべての事業において「子どもの権利」を意識し、子どもたちの声に耳を傾け、その主張や発想を取り入れていきます。

1 乳幼児と保護者に対する事業

- (1) 地域の乳幼児と保護者の居場所作りを中心とした「子育てひろば事業」を、以下のとおり実施します。なお、子育てひろば事業の事業名は「ほのぼのサロン」とします。
 - ① 活動室のフリースペース化
学校休業日以外の毎週月曜日から金曜日までの午前10時から午後3時までと土曜日の午後1時までを、乳幼児と保護者の優先室とします。
 - ② ひよこ（0歳児）
毎週木曜日に行く、0歳児と保護者の交流の場です。
 - ③ あそぼうよ（1歳児以上）
1歳児以上の交流会として、毎週水曜日に実施します。
- (2) 「地域の子育てをつなげていく」ことを掲げ、児童館で活動していた「先輩ママ」に、子育てひろば事業での講師・保育者・相談者として協力してもらいます。また、多くの子育て中の保護者が交流できるイベントも企画します。
- (3) 土曜日の子育てひろばは父親の子育てへの参加を支援するための場として、月1回程度のイベントを催します。
- (4) 子育てひろばでは、食育・健康・図書・生活等、子育てや子どもに関する相談会、講習会を、保護者の意見を取り入れ、ボランティアや関係機関の協力を得ながら実施します。
- (5) 親子での交流を目的とした、保護者が主体的に運営する幼児グループを、2歳児以上として週2回行います。
- (6) 幼稚園世代の居場所作り及び保護者の交流のための事業を行います。
- (7) 保護者の自主活動を支援します。

2 小学生に対する事業

- (1) 自由来館の児童の1人1人に対して積極的に関わり、信頼関係を築きます。
- (2) 1年生から3年生までの低学年グループを、毎週火曜日の「火曜クラブ」と金曜日の「金曜クラブ」に分け、それぞれ実施します。
- (3) 4年生以上の高学年グループを、毎週水曜日に実施します。小学生の多様な趣味趣向に合わせていくために、彼らの意見を取り入れながら、木工工作中心の「ワイルドグループ」と手芸中心の「ハンドメイドグループ」の2つに分かれて活動します。
- (4) 行事の企画実施・指導に地域のボランティアの力を取り入れ、幅広い内容の活動を実施します。また、子どもたちの自主的な活動に対しても支援を行います。
- (5) 子どもたちが準備から実施まで関わる四館合同事業を、他の児童館と協力して実施します。
- (6) 子どもたちのアクティブな冒険心をかきたてる野外事業を行います。
- (7) 夏休みの特別事業として、夏期クラブをボランティアの意見を取り入れて、5日間の充実した内容を企画実施します。

3 中・高校生世代に対しての施策

- (1) 来館する1人1人と信頼関係を構築し、意見や要望に耳を傾けるように努めます。また、相談にも対応できるようにします。
- (2) 中・高校生世代のボランティアの受入れを積極的に行います。特に夏期クラブでは事前の企画から参加を募ります。
- (3) 活動室を中・高校生世代の優先的な居場所とし、ゆとりある空間を提供します。
- (4) 活動室は、乳幼児と保護者が利用することから、中・高校生世代と乳幼児との交流事業を夏休みに実施します。
- (5) 中・高校生世代の意見や要望には、ボランティア等の協力を得ながら事業につなげます。また自主的な活動の場を提供します。

4 相談事業及び子どもの問題に対しての地域や関係機関との連携した取組

- (1) 配慮の必要な子どもについてはその保護者に協力を得ながら、ほかの子どもと関わられるように援助していきます。また、職員だけでの対応が難しい場合には、状況に応じて保護者やボランティアの協力を得ます。
- (2) 保護者からの子育てに関する軽易な相談や子ども自身からの相談を受けます。深刻な相談については、その後適切な機関とつながるように配慮します。また、その後の支援に努めます。
- (3) 地域の子育てや子どもたちに関わる人たちの拠点となり、様々な自主サークル(グループ)が交流も出来るような施設とし、そのための行事も行います。
- (4) 地域の大学生・青年ボランティアと子どもとの関わりを深めます。
- (5) 近隣の学校・子ども家庭支援センター・児童発達支援センター・主任児童委員・青少年健全育成地区委員会等の関係機関とよりよい関係を作ります。また、虐待またはその疑いのあるケースについては、子ども家庭支援センターに通報し、必要に応じて連携します。
- (6) 利用者懇談会を実施し、施設の運営や地域の子どもの問題、安全に対して、利用者だけでなくPTAや放課後子ども教室、子供会等、地域の子どものに係わる組織の人たちとも情報交換を行い、事業の連携や、互いの行事の日程調整等、地域との連携をとる場ともしていきます。
- (7) 子供会等、子どものために活動する地域の大人の組織に対し協力・連携をし、その活動の場の提供を行います。
- (8) 食育について、地域のボランティアや市内の生産者の協力を得て、乳幼児保護者対象には「家庭の食事を大切にしよう」をスローガンに、講座・イベント等を実施し、小学生対象には、環境や食材の知識を学べる事業を実施します。

5 子どもや利用者の安全を守るための取組

- (1) 館庭での火の取扱いや騒音には十分な注意をし、近隣の住民の方々に理解を得られるように配慮します。
- (2) 優良防火対象物認定施設として、防災への意識を高め、施設の整備には万全を期します。
- (3) 防災及び不審者対策とした訓練について、学童保育所と合同で3回、乳幼児を対象として館独自で3回、年計6回実施します。
- (4) 児童館施設安全管理及び緊急対応マニュアルを規範として、子どもたちの安全を図ります。

令和2年度 緑児童館のこの一年

他の児童館同様に新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながらの一年でした。乳幼児の親子にとっても小学生以上の子どもたちにとってもこれまで日常的な「居場所」が児童館以外にも多く、遊びの環境的には市内でも比較的恵まれた地域ではありましたが、コロナ禍においては、閉鎖や休業しているところも多かったために、児童館が開館していたことに利用者や保護者から感謝されもしました。令和元年度と比較して、人数的な変化がありましたが、同時に利用する層にも変化が見られました。

1 乳幼児と保護者に対する事業（子育てひろば事業・幼児グループ）

子育てひろば事業は、全体的な利用者数は前年度よりも100人程度減りましたが、スタートは6月からなので、逆に増えたと言えます。登録者数自体も前年度よりも数10人程度増えているので、コロナ禍での地域の重要な行き場になったと感じます。

令和2年度のひろば事業で大きな特徴は父親の来館者数の増加でした。これまでも土曜日での来館はありましたが、平日に父子2人で遊びに来ることも珍しくなく、「在宅」が増えたことの影響かとも思われます。月1回土曜日に実施してきた「パパとおいでよ」は父親の地域での子育てを応援するために始めましたが、毎土曜日において必ず父親の来館があったこともあり、月1回だけ「冠」をつけることに意味がなく、「パパもおいでよ」という名前は使いませんでした。それでも土曜日は父と子又は夫婦そろって子どもを連れての来館が増えました。休日に遠出を避けてい家庭が多かったことの表れかも知れません。

2歳児以上の幼児グループが8月まで行わなかったことで、それまでは毎日常に広い遊戯室が使えたことは好評でしたが、そのためか9月以降はそれがあある火曜日と金曜日はとても利用者が少なかったです。ですがその分、水曜日と木曜日は毎回賑わいました。例年以上に育児休業中の保護者が目立ち、2月は保育園入園の話題、3月は仲良くなった保護者同士が別れを惜しむ光景が多くみられました。

9月から始めた幼児グループは例年どおり2つでしたが、申し込みは例年より少なく、片方は10組を切りました。半年間楽しんでくれていれば良いのですが、会食などできないことも多かったのも、とても寂しい活動になりました。

2 小学生に対する事業

6月の開館直後は遊びに来る子どもが少なかったのですが、徐々に増えていきました。例年のことながら、利用の多い学年とそうでない学年とありました。まず目立ったのは1年生でしたが、さらに目立ったのは女子で、これまでどちらかという自由来館は圧倒的に男子が多かったのも、1日の来館で女子の方が多いい日もあったことは大きな変化でした。

その背景にはやはり地域の遊び場事情の変化が影響したようです。冒頭にも書きましたが、元々児童館以外の遊び場や活動の機会に恵まれた地域だったので、コロナ禍において、そういった場所や機会が減ったことで、これまで児童館を利用したことのない子どもたちが増えた理由だと考えます。

また、特に低学年女子に見られる傾向として、常に職員と遊ぶことを目的とし来

ていると感じられる子どもが多くいたことが挙げられます。緑児童館でも密や激しい遊びは避けるように指導していたので、開館再開当初は静かにボードゲームやカードゲームで遊ぶことを推奨していたことが理由の一つです。ですが、職員も感染対策について徐々に要領を得てきて、夏休みの頃には子どもたちに対し、気をつけさせながらボール遊びや外（館庭）遊びをさせられるようになってからも、必ず午後の小学生以上の子どもたちと体制3人のうち2人は一緒に遊んでいることが常になりました。

小学生のグループ活動は、火曜日と金曜日のグループ共に定員を2つに分け、隔週で行いましたが、グループの参加者は決まって活動のない日でも遊びに来る子どもが多く、特に不満はなかったように感じました。

子どもたちは常に元気である、と感じた半面、これまで大人しい印象を持っていた子どもが突然奇声を上げて走り回ったり、口々に「ストレス」という単語が発せられたりもしたことは、やはり気にかかる事実でした。今年度は全員の検温と館内の出入り時間の確認など、受付作業を細かく行ったことで、逆に今まで以上に子どもたち一人一人をよく見る結果ともなりました。

3 中・高校生世代に対する事業

コロナ禍において、中学生の来館も小

学生同様には増えると予想していましたが、年間の利用者集計では逆に減りました。高校生世代も含めてボランティアの受け入れを制限したり、ボランティアできる事業そのものがなくなったのですが、それを差し引いてももう少し遊びに来ると思っていました。緑中学校の部活動が比較的普通に行っていたこともありますが、令和元年度6年生の来館が多かっただけに、夏期クラブの新しいボランティアとして受け入れられなかったのは残念に思いました。

中・高校生世代の専用室は対象の子どもたちのために開けていました。毎日利用がなかったので、密を避けるために小学生にも開放していました。

1人で頻繁に来る高校1年生の男子がいました。小学生の遊び相手にもなっていました。今後行事のボランティアもしてくれそうです。

4 地域や関係機関との連携した取組

これまで事業内容に関係なく、多くの地域の大人のボランティア力に支えられてきましたが、その多くの事業は調理関係を始めこちらが行事を中止にしたり、ボランティア側が辞退したことで同様に中止又は職員主導に変わりました。中にはこれを機会にボランティアを終わりにしたいと申し出たグループや、年々保護者たちがそれぞれ多忙になり、後継者もできなかったことから自然と終止符を打たざるを得なかったものもあります。

後者は「ロビンソンクラブスタッフ」がそれで、緑児童館開設以来30年以上人が変わりながらも続けて来たグループただだけに、とても残念に思いました。逆に同じく小学生に工作を指導してくれている「グリーンサンタ」スタッフは変わらず年間通して続けてくれたことは心強い限りでした。

放課後活動できる大人が減ってきたのは、コロナ禍とは関係なくここ数年顕著にみられるようになってきました。緑児童館の事業運営の核となっていたので、今後どう転換していくかが課題です。

Ⅲ 主な日常活動



クリスマス会
(本町児童館)



巨大カルタ
(東児童館)



子ども作戦会議
(貫井南児童館)



玉入れ遊び
(緑児童館)

1 乳幼児と保護者に対する事業

乳幼児と保護者に対する事業には、主に0歳から2歳くらいまでの乳幼児と保護者の居場所と仲間作りを中心とした「子育てひろば事業」と、2歳児以上の、主に幼稚園に入園する前までの子どもたちの集団遊びと保護者の仲間作りを目的とした「幼児グループ」活動の2つがあります。「子育て支援」の取組として、児童館事業全体の中でも重要な事業の1つとなっています。

(1) 子育てひろば事業

子育てひろば事業

| 児童館名 | 事業名称 | 実施日 | 回数 | 登録児童数 | 延べ参加親子数 |
|--------|--------------------|---------|------|--------|---------|
| 本町児童館 | 乳幼児のつどい | 月・水・木・土 | 110回 | 352人 | 3,480人 |
| 東児童館 | 常設子育てひろば 「ばおばお」 | 毎週月～土 | 241回 | 450人 | 6,657人 |
| 貫井南児童館 | 乳幼児のつどい | 月・木・金・土 | 120回 | 157人 | 1,622人 |
| 緑児童館 | ほのぼのサロン・ひよこ・あそぼうよ | 毎週月～土 | 222回 | 302人 | 5,435人 |
| 合 計 | | | 693回 | 1,104人 | 17,194人 |

乳幼児講座・おはなし会・子育て相談会等

| 児童館名 | 回数 | 延べ参加親子数 | 主な内容 |
|-------|-----|---------|---|
| 本町児童館 | 33回 | 890人 | 離乳食講座、歯磨き講座、ベビーマッサージ、ベビータッチセラピー、リトミック体験講座、リズム遊び、ブックスタート講座、パパと遊ぼう、サンタクロースのグリーティングルーム、七夕、誕生日会 |
| 東児童館 | 48回 | 748人 | くりのみ保育園ミニ講座、離乳食講座、名札講習会、誕生日会、手遊び、工作、おはなし会、 |

| | | | |
|--------|------|--------|---|
| | | | おとうさんもいっしょ、子育てひろばクリスマス会、ぱおぱおリサイクル、リズム遊び |
| 貫井南児童館 | 25回 | 362人 | 寝相アート、離乳食講座、離乳食相談会、親子ヨガ、サンタさんグリーティングルーム、健康相談会 |
| 緑児童館 | 26回 | 714人 | 離乳食講習会、ベビーマッサージ体験講座、ベビーサイン体験講座、冬の健康相談機、応急救命講座、七夕のつどい、クリスマス会、節分、寝相アート、誕生日会、おはなし会 |
| 合計 | 107回 | 2,352人 | |

(2) 幼児グループ

幼児グループ一覧

| 児童館名 | グループ名 | 対象 | 活動日 | 登録 児童数 | 年間 活動数 | 延べ参加 親子数 |
|--------|---------|-------|-----|-----------|-----------|-------------|
| 本町児童館 | ぶどう | 2・3歳児 | 火曜日 | 12人 | 22回 | 387人 |
| | しょうぼうしゃ | 2・3歳児 | 金曜日 | 15人 | 26回 | 694人 |
| | 計 | | | 27人 | 48回 | 1,081人 |
| 東児童館 | レインボー | 2歳児 | 木曜日 | 16人 | 23回 | 517人 |
| | ペンギン | 2歳児 | 金曜日 | 19人 | 23回 | 703人 |
| | 計 | | | 35人 | 46回 | 1,220人 |
| 貫井南児童館 | からあげ | 2・3歳児 | 火曜日 | 7人 | 24回 | 264人 |
| | トトロ | 2・3歳児 | 水曜日 | 5人 | 25回 | 226人 |
| | 計 | | | 12人 | 49回 | 490人 |
| 緑児童館 | ぶどう | 2・3歳児 | 火曜日 | 14人 | 21回 | 522人 |
| | りんご | 2・3歳児 | 金曜日 | 12人 | 24回 | 368人 |
| | 計 | | | 26人 | 45回 | 890人 |
| 合計 | | | | 100人 | 188回 | 3,681人 |

2 小学生の活動

(1) 開館時間延長時の利用者数

学校休業日を除く平日は、小学校4年生以上の児童に対して、開館時間を午後5時30分まで延長しています。

※東児童館では、すべての開館日において午後6時まで開館延長しています。

| 児童館名 | 日数 | 小学生 | 中・高校生 | 合計人数 |
|--------|------|--------|--------|--------|
| 本町児童館 | 167日 | 2,158人 | 41人 | 2,199人 |
| 東児童館※ | 228日 | 1,579人 | 223人 | 1,802人 |
| 貫井南児童館 | 222日 | 1,724人 | 773人 | 2,497人 |
| 緑児童館 | 222日 | 1,535人 | 157人 | 1,692人 |
| 合計 | 839日 | 6,996人 | 1,194人 | 8,190人 |

(2) 小学生グループ

| 児童館名 | グループ名 | 対象 | 活動日 | 登録児童数 | 年間活動回数 | 延べ参加者数 |
|--------|-----------|-------|-----|-------|--------|--------|
| 本町児童館 | 低学年火曜日 | 1～3年生 | 火曜日 | 21人 | 23回 | 490人 |
| | 低学年金曜日 | 1～3年生 | 金曜日 | 17人 | 27回 | 449人 |
| | 高学年水曜日 | 4～6年生 | 水曜日 | 5人 | 25回 | 126人 |
| | 計 | | | 43人 | 75回 | 1,065人 |
| 東児童館 | 低学年火曜日 | 1～3年生 | 火曜日 | 24人 | 12回 | 266人 |
| | 低学年金曜日 | 1～3年生 | 金曜日 | 24人 | 12回 | 244人 |
| | 高学年1 | 4～6年生 | 水曜日 | 8人 | 23回 | 82人 |
| | 高学年2 | 4～6年生 | 水曜日 | 13人 | 23回 | 83人 |
| | 計 | | | 69人 | 70回 | 675人 |
| 貫井南児童館 | 低学年火曜日 | 1～3年生 | 火曜日 | 15人 | 22回 | 288人 |
| | 高学年 | 4～6年生 | 水曜日 | 9人 | 23回 | 123人 |
| | 計 | | | 24人 | 45回 | 411人 |
| 緑児童館 | 低学年火曜日 | 1～3年生 | 火曜日 | 24人 | 20回 | 221人 |
| | 低学年金曜日 | 1～3年生 | 金曜日 | 24人 | 22回 | 224人 |
| | 高学年ハンドメイド | 4～6年生 | 水曜日 | 8人 | 24回 | 136人 |
| | 高学年ワイルド | 4～6年生 | 水曜日 | 2人 | 24回 | 33人 |
| | 計 | | | 58人 | 90回 | 614人 |
| 合計 | | | | 194人 | 280回 | 2,765人 |

令和2年度の小学生グループ活動については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、回数を減らす、グループ内を2つに分けて毎週で交互に、1日で時間を分ける、等児童館ごとに工夫して実施した。

(4) 四館合同行事

① 移動児童館『わんぱく号』

市内に残された手つかずの自然の中で子どもと大人が一緒になって参加する行事。それが移動児童館「わんぱく号」です。「児童館のない地域に児童館を」という市民ニーズに応える形でスタートした移動児童館事業は、現在は子どもたちに貴重な自然体験をさせることを大きなコンセプトとして実施しています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために4月から6月は中止とし、9月から事業を再開しました。

主な事業内容は、段ボールで作った巨大滑り台から始まり、野外体験オリエンテーリング、段ボールフリスビー、巨大手作りトランプで神経衰弱などで、感染拡大防止のために例年とは少し違った行事を行いました。中でも野外体験オリエンテーリングではノコギリや火おこし器などの、日常ではあまり使わない道具の体験もすることができました。

また、今年度から児童青少年課 Twitter での広報を開始しました。毎月のイベント内容のお知らせや雨天中止の案内をつぶやき、利用者にとって参加しやすいイベントになるとともに、移動児童館の広報を拡充させました。

この事業は「協力」をテーマにしています。中・高校生世代から大人のボランティア、さらに参加した保護者も協力してイベントを実施しています。



移動児童館「わんぱく号」実施内容

※ 7月、8月は実施しない

| 場所 | | 都立武蔵野公園くじら山及び隣接する野川河川敷 | | | | | |
|-----|-----|------------------------|--------|----|-----|-----------|-------|
| 日時 | | 月1回、原則として第3土曜日（雨天中止） | | | | | |
| 実施月 | 実施日 | 実施内容 | 参加者（人） | | | ボランティア（人） | 合計（人） |
| | | | 子ども | 大人 | 小計 | | |
| 4 | 18 | 春のおだんご作り※1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 16 | 玉ねぎで染物体験※1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 20 | 水合戦〜くじら山夏の陣〜※1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9 | 19 | 巨大すべり台で遊ぼう | 50 | 34 | 84 | 7 | 91 |
| 10 | 17 | 玉ねぎで染物体験※2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 11 | 21 | 野外体験オリエンテーリング | 38 | 21 | 59 | 4 | 63 |
| 12 | 19 | オリジナルフリスビーを作って飛ばそう | 11 | 12 | 23 | 3 | 26 |
| 1 | 16 | 玉ねぎで染物体験※1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 20 | 巨大トランプで神経衰弱鬼ごっこ | 29 | 15 | 44 | 8 | 52 |
| 3 | 13 | 玉ねぎで染物体験※2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | | 128 | 82 | 210 | 22 | 232 |

※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業の実施を中止とした。

※2 雨天のために中止とした。

③ おうちで児童館—児童館からの特別企画—

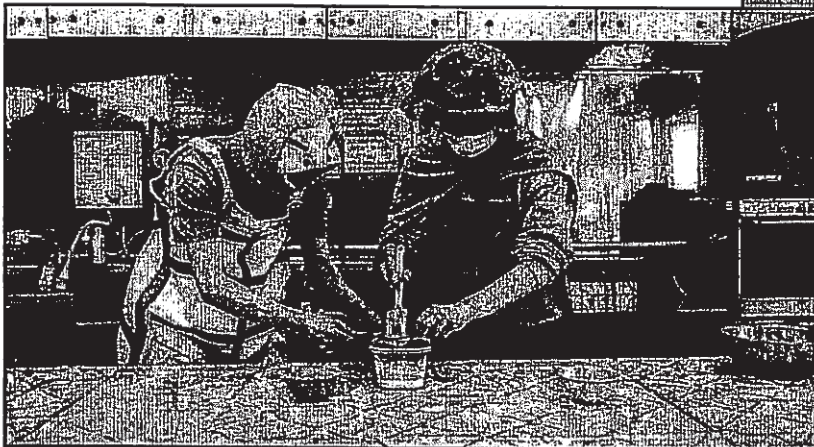
4月5月の休館中、子どもたちに会わずとも何かこちらから発信できることはないかと考えた結果、オンラインでの取り組みが全国的に急成長したこともあり、動画配信「おうちで児童館—児童館からの特別企画—」を配信しました。

この取り組みは年代別に対象を絞り、乳幼児には体操の踊り方やベビーマッサージ、手遊び動画、小学生にはクイズや工作動画、料理動画などを配信、中学生以上向けにはオンライン大喜利大会を開催など配信内容は多岐にわたりました。

また、動画を配信するのみではなく、利用者からのレスポンスを得るため、オンライン参加型のじゃんけん大会やあっち向いてホイ大会を開催。利用者との関わりを保ちました。

| おうちで児童館 動画タイトル | 掲載開始日 | 東児童館チャンネル | 掲載開始日 |
|-----------------------|-------|-----------|-------|
| みんなでおどろう はとぼっぼたいそう | 5月12日 | 迷路ボックス | 4月15日 |
| みんなでつくろう マシュマロサンドづくり | 5月12日 | 手裏剣① | 4月18日 |
| みんなでつくろう すずしいわがし | 5月12日 | カタパルト | 4月22日 |
| みんなでつくろう おうちでてづくりゲーム- | 5月18日 | 手裏剣② | 4月25日 |
| みんなであそぼう なんだろなゲーム | 5月18日 | ストロー鉄砲 | 5月2日 |
| 「幼児 てあそび」 | 5月26日 | カブト | 5月1日 |
| 「あかちゃん てあそび」 | 5月26日 | 母の日カード | 5月9日 |
| 「ベビーマッサージ 胸・おなか」 | 6月2日 | ちがうとこさがし! | 5月13日 |
| 「ベビーマッサージ 脚」 | 6月2日 | ロケット | 5月16日 |
| ごへいもちをつくろう! | 6月4日 | アベビエみつけ! | 5月20日 |
| べっこうあめをつくろう! | 6月4日 | つるつるつる | 5月23日 |
| サイコロどこだ!ゲーム | 6月4日 | 日本旅行 | 5月27日 |
| 手作り楽器で演奏しよう! | 6月4日 | とぶとぶとぶ | 5月30日 |
| おうちで児童館 オンラインイベント | 掲載開始日 | | |
| みどりッチョマンとじゃんけん大会 | 5月13日 | | |
| オンライン大喜利大会 | 5月21日 | | |
| あっち向いてホイゲーム | 6月4日 | | |

様々なオンラインで行った取り組みの様子



(3) 第48回市民まつり子ども部門行事

(単位：人)

| 地区名等 | 内 容 | 月 日 | 場 所 | 参加人数 |
|-------|------------------------------------|-----|-----|------|
| 東部地区 | | | | |
| 西部地区 | | | | |
| 南部地区 | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、市民まつり自体が中止となった。 | | | |
| 北部地区 | | | | |
| 中部地区 | | | | |
| 中央地区 | | | | |
| 子ども劇場 | | | | |
| 合 計 | | | | 0 |

(4) 新春たこあげ大会

(単位：人)

| 内 容 | 月 日 | 場 所 | 参加人数 |
|----------|------|----------------------|------|
| 新春たこあげ大会 | 1. 9 | 都立小金井公園いこいの広場、こどもの広場 | 0 |

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(5) オンラインたこ原画コンクール展

| 月 日 | 場 所 | 作 品 数 | 課 題 |
|-----------------|---------|-------|-------|
| 2. 12～ 3. 31 | 市ホームページ | 54点 | 丑(うし) |

(6) 補助金交付状況

(単位：円)

| 団 体 名 | 交付金額 |
|-------------------|-----------|
| 青少年健全育成地区委員会(6地区) | 416,315 |
| 小金井市子供会育成連合会 | 1,325,823 |

(7) 冒険遊び場等健全育成事業(プレーパーク事業)

(単位：人)

| 開催月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------------------------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 開催回数 | 0回 | 0回 | 0回 | 6回 | 8回 | 13回 | 12回 | 15回 | 15回 | 13回 | 11回 | 14回 | 107回 |
| いけとおがわ (火～木・土/ 週4回) | 0 | 0 | 0 | 37 | 121 | 102 | 158 | 365 | 482 | 537 | 534 | 791 | 3,127 |
| くじら山 (金/週1 回) | 0 | 0 | 0 | 77 | 52 | 105 | 183 | 241 | 256 | 311 | 468 | 614 | 2,307 |

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止期間あり

第1 児童青少年係

1 青少年問題協議会

・ 青少年問題協議会

| 月 日 | 場 所 | 内 容 |
|-------|-----|------------------|
| 3. 29 | 市役所 | リーフレット(案)の承認について |

・ 専門委員会

| 月 日 | 場 所 | 内 容 |
|----------------|--------|----------------------------------|
| 1. 5～ 1. 20 | 書面審議 | 啓発内容の方向性について |
| 2. 16 | 萌え木ホール | 啓発用リーフレットについて |
| 3. 5～ 3. 11 | 書面審議 | 修正したリーフレット案について リーフレットの表題について |

2 青少年健全育成事業

(1) 第48回子ども週間行事

(単位：人)

| 内 容 | 月 日 | 場 所 | 参加人数 |
|------------------------------|-------|-------------|------|
| 東部地区 子ども縁日 | 4. 18 | 東小学校 | 0 |
| 西部地区 子ども縁日 | 4. 25 | 本町児童館・上の原公園 | 0 |
| 南部地区 わくわく子どもまつり | 4. 18 | 貫井南児童館 | 0 |
| 北部地区 グリーンファイト！！ オリエンテーリング | 5. 17 | 都立小金井公園 | 0 |
| 中部地区 わくわく運動会 | 4. 25 | 都立武蔵野公園くじら山 | 0 |
| 中央地区 それゆけ！みんなで運動会 | 4. 25 | 小金井第二小学校校庭 | 0 |
| | | 合 計 | 0 |

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(2) 地区委員研修会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

小学生と中・高校生世代対象の料理教室

【料理教室、地域農業生産者との交流】

主に小学生から中・高校生世代（一部3歳児以上の幼児を含む。）までを対象とした、手作りを基本とする料理教室。作り方の指導とあわせて、食を共にしながら相互の交流を図る。

地域の農業生産者と交流し、野菜の収穫体験、地場野菜を中心とした農作物の学習等を行う。

| 実施児童館 | 行事名 | 回数(回) | 延べ人数(人) | ※A | ※B | ※C | 主な内容 |
|-------------|---------------------------|-------|---------|----|----|----|---|
| 本町児童館 | クッキング名人 | 0 | 0 | ○ | ○ | ○ | 調理及び会食をとまなう行事をすべて中止し、各児童館共に、いも掘りのみ実施した。 |
| | わんぱくキッズあつまれ | 0 | 0 | ○ | | | |
| | 低学年グループ | 0 | 0 | ○ | | ○ | |
| | 高学年グループ | 0 | 0 | ○ | | | |
| | あつまれ！中・高校生世代ワッフル交流会 | 0 | 0 | ○ | | | |
| | 夏期クラブ | 0 | 0 | ○ | | | |
| | エコクッキング | 0 | 0 | ○ | | ○ | |
| | 幼児グループいも掘り | 2 | 47 | | ○ | | |
| 東児童館 | 低学年グループ | 0 | 0 | ○ | | | |
| | 高学年グループ | 0 | 0 | ○ | | | |
| | わくわくキッズ | 0 | 0 | ○ | | ○ | |
| | お菓子作り | 0 | 0 | ○ | | ○ | |
| | 中高校生タイム | 0 | 0 | ○ | | ○ | |
| | 夏期クラブ夕食作り | 0 | 0 | ○ | | | |
| | ファースト・ひがじ・キッチン | 0 | 0 | ○ | | | |
| | 幼児グループいも掘り | 2 | 60 | | ○ | | |
| | 低学年グループいも掘り | 2 | 43 | | ○ | | |
| 高学年グループいも掘り | 2 | 7 | | ○ | | | |
| 貫井南児童館 | もくもくクラブ | 0 | 0 | ○ | | | |
| | 低学年グループ | 0 | 0 | ○ | | | |
| | 高学年グループ | 0 | 0 | ○ | | | |
| | 夏期クラブ夕食作り | 0 | 0 | ○ | | | |
| | 各種行事 | 0 | 0 | ○ | | | |
| | 野菜収穫とクッキング | 0 | 0 | ○ | ○ | | |
| | スペース@ヌクイ | 0 | 0 | ○ | | | |
| | みんなでクッキング | 0 | 0 | ○ | | ○ | |
| | 幼児グループいも掘り | 2 | 20 | | ○ | | |
| 緑児童館 | 低学年グループ | 0 | 0 | ○ | | | |
| | 高学年グループ | 0 | 0 | ○ | | | |
| | ロビンソンクラブ | 0 | 0 | ○ | | | |
| | キッチンパーティ | 0 | 0 | ○ | | | |
| | 夏期クラブ夕食作り | 0 | 0 | ○ | | | |
| | あつまれみどりっ子 | 0 | 0 | ○ | | | |
| | 涼しい夏を食べよう | 0 | 0 | | | ○ | |
| | 冬期クラブ | 0 | 0 | | | ○ | |
| | 幼児グループ農業体験（じゃがいも、さつまいも掘り） | 2 | 40 | | ○ | | |

※A 季節にちなんだ料理を作り、料理の楽しさや食に対する知識を学ぶ。

※B 地場野菜の利用や生産者との交流を行う。 ※C 環境に配慮した料理教室等を行う。

6 食育の取組

市では食育基本法に基づき、食育推進計画を策定（平成20年6月）していますが、児童館でも子育てひろば事業を始めとして、様々な対象で食育を推進する事業を実施しています。

乳幼児と保護者に対する事業では、離乳食講習会や食事の重要性をアピールする講習会、幼児グループでの野菜収穫体験。小学生を対象とした事業では、手作りということに視点を置いています。同時に食育推進計画内の「食品ロスの軽減」や「食生活に地産地消を取り入れる」もテーマに掲げ、市の食育推進委員や農業生産者の協力を得ています。

乳幼児と保護者対象の相談会及び食事会

【子育て相談会】

保護者に対する食事や栄養をテーマにした専門家による講習会及び相談会

| 実施児童館 | 行事名 | 回数(回) | 延べ人数(人) | 主な内容 |
|--------|----------|-------|---------|--|
| 本町児童館 | 離乳食講座 | 2 | 20 | 乳幼児のつどいへ参加する親子を対象に相談会や講座を実施 |
| | 栄養士相談会 | 0 | 0 | |
| 東児童館 | 離乳食講座 | 2 | 32 | 栄養士や看護師による講座等 |
| | くりのみミニ講座 | 1 | 13 | |
| 貫井南児童館 | 離乳食相談会 | 2 | 10 | 0歳児の親子5組が乳幼児のつどいの行事で相談会に参加。 |
| | 栄養士相談会 | 0 | 0 | |
| 緑児童館 | 離乳食講習会 | 2 | 28 | 参加者と同じ目線で話せるような、児童館の利用者で専門性を持つ人に講師を依頼（おやつ講習会及び離乳食講習会の一部は中止）。健康相談会は保育園の保健師が講師 |
| | 幼児食講習会 | 1 | 21 | |
| | 冬の健康相談会 | 1 | 35 | |
| | おやつ作り講習会 | 0 | 0 | |

【乳幼児食事会】

子育てひろばや幼児グループで行う、食を通じた交流会

| 実施児童館 | 行事名 | 回数(回) | 延べ人数(人) | 主な内容 |
|--------|----------------|-------|---------|--|
| 本町児童館 | 離乳食講座における試食会 | 0 | 0 | 中止（離乳食講座自体は実施） |
| | 幼児グループ食事会 | 0 | 0 | |
| 東児童館 | 子育てひろば会食 | 0 | 0 | すべて中止としたが、子育てひろばの「たより」にて会食メニューを掲載紹介した。 |
| | 子育てひろば茶房 | 0 | 0 | |
| | 幼児グループ食事会 | 0 | 0 | |
| | 幼児グループ餅つき | 0 | 0 | |
| 貫井南児童館 | 幼児グループ食事会 | 0 | 0 | 中止 |
| | 幼児グループ餅つき | 0 | 0 | |
| 緑児童館 | クリスマス交流会 | 0 | 0 | 中止（クリスマス会自体は実施） |
| | 子育てひろば焼きいものつどい | 0 | 0 | |
| | 幼児グループ交流会食会 | 0 | 0 | |
| | 幼児グループ餅つき | 0 | 0 | |

5 相談事業

児童館相談事業相談件数

※児童館の相談件数については、今後他機関も含めた支援や経過の観察が必要として記録したもののみ記載

大人からの相談件数(内訳)

(単位:件)

| 区分 | 健康 | 家庭・生活環境 | 発育発達 | 養育不安 | 虐待 | 基本的生活習慣 | 教育・しつけ | その他 | 合計 |
|--------|----|---------|------|------|----|---------|--------|-----|----|
| 本町児童館 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 東児童館※ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 貫井南児童館 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| 緑児童館 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 11 |
| 合計 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 14 |

※東児童館の相談件数のうち、専門相談件数は除く。

子どもからの相談件数(内訳)

(単位:件)

| 区分 | 健康 | 家庭・生活環境 | 友人関係 | 発育発達 | 虐待 | あそび・生活習慣 | 学校・塾 | その他 | 合計 |
|--------|----|---------|------|------|----|----------|------|-----|----|
| 本町児童館 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 東児童館※ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 貫井南児童館 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 5 |
| 緑児童館 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 5 |

※東児童館の相談件数のうち、専門相談件数は除く。

相談対象の年代別内訳

(単位:件)

| 児童館名 | 乳児 | 幼児 | 小学生 | 中・高校生世代 | 計 | 子育て相談会等での相談件数 ※ |
|--------|----|----|-----|---------|----|-----------------|
| 本町児童館 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 東児童館 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 貫井南児童館 | 2 | 0 | 2 | 4 | 8 | 0 |
| 緑児童館 | 0 | 9 | 2 | 0 | 11 | 0 |
| 合計 | 2 | 9 | 4 | 4 | 19 | 0 |

※相談会の相談は講師への質問は除く、各児童館で記録しておくことを講師から求められたもの

東児童館専門相談の件数

※(単位:日/件)

| | | |
|---------------|----|----|
| 専門相談事業(子育て相談) | 11 | 6 |
| 専門相談事業(思春期相談) | 11 | 21 |

※専門相談事業は毎月1日の実施(事前申込制)で、各日1件ごとに3件までの枠を設けている(1日×3件×12ヶ月=年間最高36件)。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月については申し込みを中止とした。

～夜間開館事業とボランティア活動～

※ 夜間開館事業は東児童館と貫井南児童館の2館で実施

●本町児童館

【中・高校生世代がボランティアをした事業】

| 行事名 | 回数(回) | 実施月 | 延参加人数(人) | 内容 |
|----------|-------|-----|----------|------------------------|
| 本町ゲームショー | 1 | 7月 | 1 | 小・中学生対象ボードゲーム行事のボランティア |

●東児童館

【☆ぶれいすHIGAJI☆】

| 日時 | 回数(回) | 延参加人数(人) | | | 主な内容 |
|------------------|-------|----------|-----|-----|-------------------|
| | | 中学生 | 高校生 | 計 | |
| 毎週水曜日 午後6時～8時 | 39 | 119 | 42 | 161 | 講師によるイベント、フリータイム等 |

【中・高校生世代がボランティアをした事業】

| 行事名 | 回数(回) | 実施月 | 延参加人数(人) | 内容 |
|-----------|-------|--------|----------|----------|
| マンガイラスト教室 | 2 | 11月、1月 | 2 | 大学生講師の代理 |

●貫井南児童館

【スペース@ヌクイ】

| 日時 | 回数(回) | 延参加人数(人) | | | 主な内容 |
|------------------|-------|----------|-----|-----|--|
| | | 中学生 | 高校生 | 計 | |
| 毎週金曜日 午後4時～8時 | 38 | 72 | 117 | 189 | 作戦会議、ボードゲーム、ミニピリヤード、ドミノ倒し、レジンでアクセサリー作り、陶芸講座、バンドスタジオの利用 |

【中・高校生世代がボランティアをした事業】

| 行事名 | 回数(回) | 実施月 | 延べ参加人数(人) | 内容 |
|---------|-------|------------|-----------|---------------------|
| 小学生工作行事 | 4 | 7月、8月 | 6 | 小学生の工作活動での補助 |
| 子ども作戦会議 | 3 | 10月、11月、1月 | 3 | 会議進行の補助 |
| 低学年グループ | 21 | 9月から毎月 | 24 | 小学生の工作や集団遊びなどの活動の補助 |
| 高学年グループ | 3 | 11月、12月 | 4 | 小学生の工作や集団遊びなどの活動の補助 |
| もくもくクラブ | 3 | 10月、12月、3月 | 3 | 小学生の工作活動での補助 |
| 幼児グループ | 1 | 12月 | 1 | 幼児グループでのクリスマス会の補助 |

●緑児童館

【中・高校生世代がボランティアをした事業】

令和2年度に関しては、中・高校生世代がボランティアとして参加した事業はなかった。

子ども会議について

(単位：人)

本町児童館で開催された子ども会議

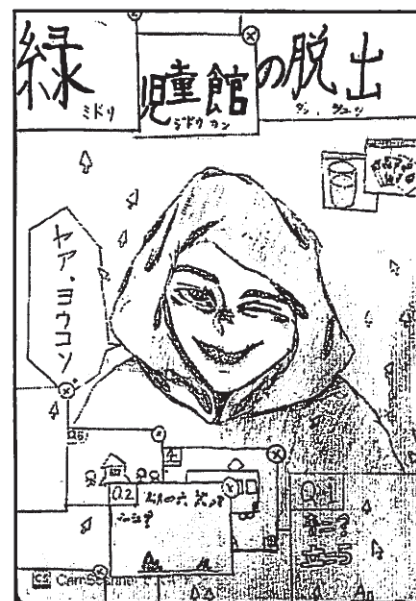
| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 |
|-----|------|------|------|------|-----|
| 日にち | 1/13 | 1/27 | 2/10 | 2/24 | 3/3 |
| 参加者 | 13 | 12 | 13 | 12 | 13 |

東児童館で開催された子ども会議

| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 |
|-----|------|------|------|------|
| 日にち | 1/13 | 1/27 | 2/10 | 2/24 |
| 参加者 | 3 | 3 | 4 | 4 |

貫井南児童館で開催された子ども会議

| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 |
|-----|------|------|-----|------|------|-----|
| 日にち | 1/13 | 1/27 | 2/3 | 2/10 | 2/24 | 3/3 |
| 参加者 | 2 | 2 | 4 | 3 | 8 | 6 |



緑児童館で開催された子ども会議

| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 |
|-----|------|------|------|------|-----|
| 日にち | 1/13 | 1/27 | 2/10 | 2/24 | 3/3 |
| 参加者 | 8 | 5 | 7 | 6 | 7 |

※各児童館での回数等の違いについては、

子ども会議のメンバーの都合や準備の進捗具合に対応するため

景品を取りに来た子どもは小学校4年生以下が多く、問題の難易度が高学年レベルだったので参加者の多くが難しく感じたようでした。

今回オンラインを使った行事を初めての試みとして実施したことで、行事实施方法の一つの可能性を見出すことができました。しかしながら、実際に子どもたちが参加できる形の方が楽しさは大きいので、新型コロナウイルス感染状況を見ながら、徐々に従来の参加型の内容に戻していきたいと考えています。

⑤ 児童館中・高校生世代及び大人ボランティア対象オンラインミーティング「会議だョ！全員集合！」

令和元年度児童館四館合同行事「わんぱく団」に参加したボランティアを対象としたオンライン会議を実施した。内容はボランティア同士の近況報告、来年度の合同行事開催のための事前打ち合わせを行った。

| 開催日 | 開催場所 | 参加者数 | | | |
|-----------|------------------|------|-----|--------------|----|
| | | 中学生 | 高校生 | 大人 ボランティア | 合計 |
| 12月11日（金） | 貫井南児童館 及び各々自宅 | 2 | 2 | 6 | 10 |

④ 令和2年度四館合同行事

「オンライン脱出ゲーム

～サイバーミッション・ホームページからの脱出～

日時：令和3年3月8日(月)午前0時から19日(金)午後5時35分まで
(電話対応、景品交換は児童館開館時間のみ)

場所：(1) 出題
小金井市公式ホームページ 児童館コンテンツ内
(2) 景品交換
市内各児童館

参加者：(1) オンライン脱出ゲーム準備会：135人(延べ人数)
(2) オンライン脱出ゲーム景品配布人数：57人



イメージキャラクター
「だっしゅつくん」



児童館四館合同行事は、「小金井市子どもの権利に関する条例」にも明記された、子どもたちの意見表明の場を作ることを大きな趣旨の一つとしています。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為、一度に大人数の子どもが集まらないよう、オンライン形式で実施しました。

参加者は小金井市公式ホームページに掲載された謎を解き、指定の画像やワードを探しつつ進み、最後のページにたどり着くことで脱出成功となります。脱出証明書を指定期間内に児童館職員に提示することで、各館先着50人に景品を授与しました。

家庭にオンライン設備が整っていない子どもは、各自児童館に来館してもらい、ホームページを印刷した問題冊子を渡すことでゲームに参加できることとしました。

オンライン脱出ゲーム準備会について

令和3年1月から3月にかけて、月1回または2回の水曜日高学年グループ活動の時間を使い、各児童館で高学年グループ参加者と一般申込者でオンライン脱出ゲーム準備会を実施し、各担当ページの謎を考案しました。緊急事態宣言中の実施で参加を自粛する子もいたため、参加人数が少ない館もありましたが、それぞれの館で子どもたちの意見を聞きながら謎解きページを完成させました。

9 その他行事

●本町児童館 年間行事一覧

【乳幼児と保護者対象行事①】

| 行事名 | 内容 | 定員 (組) | 延べ参加 人数(人) | 回数 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|----------------------------|------------------------------|-----------|---------------|--------------------------|---|---|----|----|
| | | | | 実施月 | | | | |
| 誕生日会 | 各月生まれの子どもを歌や手遊びで祝う。 | | 400 | 10回 6月から毎月 | ○ | | | ○ |
| 子育て相談会 | 保育士、看護師、栄養士、保健師による相談会 | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| ベビータッチセラピー | タッチセラピストによるベビータッチセラピー実技講習会 | 5 | 50 | 5回 10月から毎月 | ○ | | | ○ |
| パパと遊ぼう | リズム遊び体験、親子コンサート | 10 | 166 | 8回 6月から毎月 (10月を除く) | ○ | | | ○ |
| 食育講座「離乳食講習会」 | 栄養士による離乳食調理の実演と試食会 | 6 | 20 | 2回 10.2月 | ○ | | | ○ |
| 応急救命講習会 | 小金井消防署指導による講習会 | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| ベビーサイン | 日本ベビーサイン協会認定講師によるベビーサイン実技講習会 | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| 七夕のつどい | 笹飾り作り | | 26 | 1回 7月 | ○ | | | ○ |
| 乳幼児のつどいの水遊び | ベランダにビニールプールを出して乳幼児対象の水遊び | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| 歯磨き講座 | 歯科衛生士による講習会 | 5 | 10 | 1回 11月 | ○ | | | ○ |
| 助産師さんのベビーマッサージ体験講座 | ベビーマッサージ実技講習会 | 5 | 10 | 1回 12月 | ○ | | | ○ |
| サンタクロースのグリーティングルーム | サンタクロースと写真撮影 | | 131 | 2回 12月 2回 | ○ | | | ○ |
| ブックスタート講座「乳幼児向け絵本の紹介と楽しみ方」 | 図書館貫井北分室の職員による絵本紹介や手遊び | 6 | 12 | 1回 2月 | ○ | | | ○ |
| リトミック体験講座 | リトミック講師によるリズム遊び体験講座 | 10 | 21 | 1回 2月 | ○ | | | ○ |

【乳幼児と保護者対象行事②】

| 行事名 | 内容 | 定員 | 延べ参加人数(人) | 回数 実施月 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|----------------------|-------------------------------|----|-----------|-----------|---|---|----|----|
| 幼児グループ合同打ち合わせ会 | 幼児グループ火曜日、金曜日 合同の代表者打ち合わせ会 | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| 幼児グループ合同運動会 | 幼児グループ火曜日、金曜日 合同運動会 | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| 幼児グループ子育て講座「リトミックの日」 | リトミック講師によるリズム遊び | | 44 | 1回 2月 | ○ | | | ○ |

【定例行事】

| 行事名 | 内容 | 定員 (人) | 延べ参加人数(人) | 回数 実施月 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|-------------|----------------------------------|-----------|-----------|---------------|---|---|----|----|
| 少年少女囲碁・将棋教室 | 地域ボランティアによる囲碁、将棋、オセロなどのボードゲームの指導 | 5 | 65 | 17回 7月から毎月 | ○ | ○ | ○ | |
| 本町卓球教室 | スポーツ推進委員協議会代表による卓球教室 | 10 | 60 | 7回 9月から毎月 | | ○ | ○ | |
| 熱血球技大会 | 子どもたちの意見を取り入れた球技大会 | | 0 | 中止 | | ○ | | |
| 本町ゲームショウ | 子どもたちの意見を取り入れた室内ゲーム大会 | 10 | 98 | 13回 6月から毎月 | ○ | ○ | ○ | |

【館外行事】

| 行事名 | 内容 | 定員 | 延べ参加人数(人) | 回数 実施月 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|-------------|-----------------|----|-----------|-----------|---|---|----|----|
| 遠足 | 公共交通機関を利用した遠足 | | 0 | 中止 | | ○ | | |
| 地域オリエンテーリング | 近隣地域でのオリエンテーリング | | 0 | 中止 | | ○ | | |

【その他行事①】

| 行事名 | 内容 | 定員 | 延べ参加人数(人) | 回数 実施月 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|---------------------|------------------------|----|-----------|-----------|---|---|----|----|
| 新歓ライブ2020 | 新1年生に向けて児童館紹介、人形劇とダンス | | 0 | 中止 | ○ | ○ | | ○ |
| あつまれ！中・高校生世代ワッフル交流会 | 中・高校生世代の交流を目的としたワッフル作り | | 0 | 中止 | | | ○ | |
| クッキング名人 | クッキング名人の会指導による各種料理教室 | | 0 | 中止 | | ○ | ○ | |

【その他行事②】

| 行事名 | 内容 | 定員 (人) | 延べ参加 人数(人) | 回数 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|----------------|---------------------------------------|-----------|---------------|-----------------|---|---|----|----|
| | | | | 実施月 | | | | |
| 大きな絵本劇場 | ひまわり会による大きな絵本の読み聞かせ | | 0 | 中止 | ○ | ○ | | |
| 避難訓練 | 児童館、学童合同で行う地震、火災を想定した避難訓練 | | 393 | 6回 7. 11. 3月 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 異世代交流事業 | 乳幼児のつどいでの育児体験の実施 | | 0 | 中止 | | ○ | ○ | ○ |
| あつまれ！わんぱくキッズ | 幼稚園児世代対象の演奏会やおやつ作り | | 0 | 0回 中止 | ○ | | | ○ |
| アート・クラフトスクール | 工作行事 | 10 | 42 | 5回 8. 9. 10月 | | ○ | | |
| エコクッキング | 料理行事 | | 0 | 中止 | | ○ | | |
| 本町ダンス・ラボ | ダンス講習会 | | 3 | 1回 11月 | | ○ | | |
| 本町Tリーグ | 卓球トーナメント | 10 | 16 | 2回 12. 3月 | | ○ | ○ | |
| 本町マンガ・ラボ | 大学生によるイラストの描き方、スクリーントーンの貼り方、ベタの塗り方の指導 | 10 | 6 | 1回 1月 | | ○ | | |
| フェルト職人と工房体験 | マスクケース作り | 10 | 3 | 1回 2月 | | ○ | | |
| 利用者懇談会 | 子どもが利用する保護者などを行う意見交換会 | | 3 | 1回 2月 | | | | ○ |
| 人形劇団公演 | 近隣大学人形劇団による人形劇の上演 | | 0 | 中止 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 子ども縁日 | 児童館で活動するグループが出店する子ども縁日 | | 0 | 中止 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| オリジナルマイカーゴを作ろう | 編み込み籠作り | 6 | 6 | 1回 3月 | | ○ | | |

●東児童館 年間行事一覧

【乳幼児と保護者対象行事】

| 行事名 | 内容 | 定員 (組) | 延べ参加 人数(人) | 回数 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|--------------------------|--|-----------|---------------|-----------------------|---|---|----|----|
| | | | | 実施月 | | | | |
| 離乳食講座 | 季節に合わせたメニューでの離乳食作り講座。栄養士の方の協力により行う。 | 各10 | 32 | 2回 10.2月(1回中止) | ○ | | | ○ |
| くりのみ保育園ミニ講座 | くりのみ保育園の協力で、季節や離乳食をテーマに講師が話し質問などを受ける。 | | 0 | 1回 1月(2回中止) | ○ | | | ○ |
| 名札講習会 | 子育てひろば利用者を対象にした名札制作を、地域の方の協力を受けて行う。 | 各10 | 10 | 1回 1月(2回中止) | ○ | | | ○ |
| 乳幼児のための救急法 | 乳幼児の誤飲や水の事故に対応する応急救護訓練 | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| 誕生日会 (子育てひろば事業) | 誕生月の乳幼児を皆で祝う。自主グループ「レインボー」作製のフォトフレームをプレゼント。 | | 80 | 9回 7月から毎月 | ○ | | | ○ |
| おはなし会 (子育てひろば事業) | くりの実文庫の協力による絵本の読み聞かせ、人形劇、手遊びなど | | 117 | 7回 9月から毎月 | ○ | | | ○ |
| リズム遊び (子育てひろば事業) | 歌や踊りなど、親子のリズムあそび | | 135 | 9回 7月から毎月 | ○ | | | ○ |
| おとうさんもいっしょ (子育てひろば事業) | 父親の子育てひろば利用の広がりを目指して開催 | | 139 | 11回 7月から毎月 | ○ | | | ○ |
| ばおばおりさいくる (子育てひろば事業) | 子育てに関する使わなくなったものの交換会 | | 44 | 1回 10月(2回中止) | ○ | | | ○ |
| ひろばクリスマス会 (子育てひろば事業) | 地域のハンドベルサークル「ノイ」によるクリスマスソングの演奏とボランティアによる読み聞かせ等 | | 41 | 1回 12月 | ○ | | | ○ |
| 子育てセミナー | 靴下人形を使ったふれあい遊び 楽しく作って美味しく食べる | 10 8 | 30 | 2回 12.2月 | ○ | | | ○ |
| ファースト・ひがじ・キッチン | 幼稚園児～小学校2年生対象の料理教室 | | 0 | 中止 | ○ | ○ | | ○ |
| 工作DAY とぼして遊ぼう | 牛乳パックフリスビー 手裏剣&ストローてっぽう | 各15 | 0 | 中止 | | | | |
| 幼児グループ水遊び | 夏の水遊び | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| 幼児グループ合同運動会 | 栗山公園で行う幼児グループの合同運動会 | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| おいでよ!3・4・5・6 | 幼稚園児世代とその保護者への部屋開放 | | 87 | 11回 8.12.3月で計11回実施 | ○ | | | ○ |

【定例行事】

| 行事名 | 内容 | 定員 (人) | 延べ参加 人数(人) | 回数 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|-----------------|--------------------------------------|-----------|---------------|-----------------------------|---|---|----|----|
| | | | | 実施月 | | | | |
| おはなし会 | くりの実文庫の協力による絵本の読み聞かせ、人形劇、工作など | | 55 | 7回 9月から毎月 | ○ | ○ | | ○ |
| わくわくキッズ | わくわくキッズの会の協力によるおやつ作りや工作など | 8 | 22 | 2回 7.9月(4回中止) | ○ | ○ | | ○ |
| いとうおじちゃんの仕事 | 地域ボランティアの協力による小学生を対象にした工作教室 | 8 | 40 | 6回 9.10.11.12.1.2月(2回中止) | | ○ | | |
| マンガイラスト教室 | 東京学芸大学漫画研究部の協力による教室。一緒に絵を描きながら技術を学ぶ。 | | 26 | 4回 9.11.1.2月(2回中止) | | ○ | ○ | |
| ナオセルマン博士のおもちゃ病院 | おもちゃ病院グループの協力によるおもちゃの修理 | | 51 | 7回 7月から毎月(1月を除く) | ○ | ○ | ○ | ○ |

【館外行事】

| 行事名 | 内容 | 定員 | 延べ参加 人数(人) | 回数 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|---------------|------------------------------------|----|---------------|-----|---|---|----|----|
| | | | | 実施月 | | | | |
| 春の遠足 | 都内方面へのテーマパーク見学 | | 0 | 中止 | | ○ | | |
| とびだせ！中高生～夏の陣～ | 中・高校生世代が自ら企画・立案し、奥多摩での川遊びやハイキングを行う | | 0 | 中止 | | | ○ | |
| 秋の遠足 | 小学生対象の館外活動 | | 0 | 中止 | | ○ | | |
| アウトドア体験 | ハイキング | | 0 | 中止 | | ○ | | |
| とびだせ！中高生～冬の陣～ | 中・高校生世代が自ら遠足を企画・立案し、実施する。 | | 0 | 中止 | | | ○ | |
| 低学年お別れ遠足 | 火、金曜日グループ合同でわんぱく号に参加する | | 0 | 中止 | | ○ | | |

【その他行事】

| 行事名 | 内容 | 定員 | 延べ参加人数(人) | 回数 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|-----------------------|-------------------------------------|----|-----------|----------------|---|---|----|----|
| | | | | 実施月 | | | | |
| 新一年生歓迎会 | 職員の紹介や児童館利用の説明後、工作やゲームコーナーで楽しむ。 | | 0 | 中止 | | ○ | | |
| おばけ屋敷 | 中・高校生世代が主体となり準備。小学校高学年もおばけ役で参加 | | 0 | 中止 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 利用者懇談会 | 児童館利用者、ボランティア、地域の方が参加する懇談会 | | 9 | 1回 2月 | | | | ○ |
| 東児童館運営会議 | 地域の方々及び児童館利用者による児童館運営への提言・意見 | | 2 | 1回 2月(2回中止) | | | | ○ |
| 避難訓練 | たまむし学童保育所と合同の火災及び地震の発生を想定した訓練 | | 39 | 3回 6.11.3月 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 避難訓練 | 火災及び地震の発生を想定した訓練 児童館のみで午前中に実施 | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| ハロウィンパーティー | グループごとに仮装して近隣やグループホームを巡る | | 0 | 中止 | | ○ | | |
| やってみよう！焼き芋体験 | たき火の準備等も含めて焼き芋を体験する。たまむし学童保育所と合同実施 | | 0 | 中止 | ○ | ○ | | ○ |
| 料理をしよう | 季節に合わせた料理体験 | | 0 | 中止 | | ○ | | |
| 中高生と乳幼児ふれあい(赤ちゃんと遊ぼう) | 乳幼児の発達と手遊びを教わり、子育てひろばで実際に乳幼児とふれあった。 | | 0 | 中止 | | | ○ | |
| とまるぜ！中高生 | 中・高校生世代企画による館内での宿泊 | | 0 | 中止 | | | ○ | |
| HIGAJIかるちゃー | 近隣の大学や地域団体等と連携し、創作的な遊びを行う | | 0 | 中止 | ○ | ○ | | ○ |
| 子ども縁日 | 小学生グループ、一般児童、地域ボランティア団体等が模擬店を実施 | | 0 | 中止 | ○ | ○ | ○ | ○ |

●貫井南児童館 年間行事一覧
【乳幼児と保護者対象行事】

| 行事名 | 内容 | 定員 (組) | 延べ参加 人数(人) | 回数 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|---------------------|-----------------------------|-----------|---------------|-------------------------|---|---|----|----|
| | | | | 実施月 | | | | |
| 誕生日会 | 読み聞かせと誕生月の子にプレゼント | | 142 | 7回 9月から毎月 | ○ | | | ○ |
| 寝相アート | 子どもを季節の飾りの前に座らせて写真撮影する | | 138 | 12回 9. 10. 12. 2. 3月 | ○ | | | ○ |
| ヌクイ・ダディ 集まれ | 乳幼児の父親の参加を促す行事 | | 138 | 10回 毎月1回(6月から毎月) | ○ | | | ○ |
| 幼児グループ水遊び 交流会 | 2つの幼児グループ対象の水遊びによる交流 | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| キッズ水遊びの日 | 幼稚園児世代の水遊び | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| 乳幼児のつどい 水遊び | 庭にプールを出して水遊びをする | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| フェルトの名札 講習会 | 地元のフェルト作家の指導による子どもの名札作り | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| 幼児グループ合同 打合せ会 | 火、水曜日の幼児グループ合同の運動会の打合せ会 | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| 幼児グループ合同 運動会 | 火、水曜日の幼児グループ合同の運動会 | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| 離乳食相談会 | 栄養士による離乳食の相談会 | 各10 | 10 | 2回 10. 2月 | ○ | | | ○ |
| 親子ヨガ | 親子で参加できるヨガ体験 | 各10 | 28 | 2回 11. 3月 | ○ | | | ○ |
| 手形取り | スタンプで子どもの手形を取る | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| サンタさんグリー ティングルーム | サンタと写真撮影会 | | 30 | 1回 12月 | ○ | | | ○ |
| 0歳児の健康につい での相談会 | 保育園の看護師による相談会 | 10 | 14 | 1回 12月 | ○ | | | ○ |
| あそぼうキッズ | 幼稚園児世代の親子が自由に広い部屋で遊べる時間を設ける | 10 | 71 | 14回 毎月2回(9月～3月) | ○ | | | ○ |

【定例行事】

| 行事名 | 内容 | 定員 | 延べ参加人数(人) | 回数 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|-----------------|---|----|-----------|--------------------|---|---|----|----|
| | | | | 実施月 | | | | |
| ぬくいギネスの日 | 児童館の遊具を使用して自由来館児対象に行う遊び | | 161 | 10回 6月から毎月 | | ○ | ○ | |
| 子ども作戦会議 | 子どもの意見表明の場、主体的な活動の場 | | 121 | 14回 月2回(9月から毎月) | | ○ | ○ | |
| みんなでクッキング | 学校休業日に行う昼食作り | | 0 | 中止 | | ○ | ○ | |
| 将棋に挑戦 | 地域の将棋ボランティアの指導による将棋の対局 | | 33 | 7回 9月から毎月 | | ○ | ○ | |
| ナオセルマン博士のおもちゃ病院 | おもちゃの病院グループによるおもちゃの修理 | | 39 | 8回 9月から毎月 | ○ | ○ | | ○ |
| もくもくクラブ | 低学年グループにに参加していない小学校1年生から3年生までを対象として行う工作 | | 48 | 9回 7月、9月～3月 | | ○ | | |

【館外行事】

| 行事名 | 内容 | 定員(人) | 延べ参加人数(人) | 回数 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|---------|----|-------|-----------|-----|---|---|----|----|
| | | | | 実施月 | | | | |
| 小学生対象遠足 | | | 0 | 中止 | | ○ | | |

【その他行事】

| 行事名 | 内容 | 定員(人) | 延べ参加人数(人) | 回数 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|-----------------------------|---------------------------------|-------|-----------|---------------|---|---|----|----|
| | | | | 実施月 | | | | |
| 新1年生歓迎会 ～クッキーパーティとゲーム大会～ | 新1年生に職員と上級生から児童館の使い方を紹介、おやつ調理など | 20 | 0 | 中止 | | ○ | | |
| パパと作ろう ～外国の料理 | 公民館サークルの協力で、父子を対象に行う料理作り | 10 | 0 | 中止 | ○ | ○ | | ○ |
| お話のびっくり箱 | パネルシアターの上演とゲーム | | 0 | 中止 | ○ | ○ | | ○ |
| 野菜収穫とクッキング | 近所の農園での収穫及び昼食作り | 各10 | 0 | 2回 中止 | | ○ | | |
| 野外料理講習会 | 夏の児童館行事ボランティアに向けての講習会 | | 0 | 1回 中止 | | | ○ | |
| 小学生対象工作 | スクイーズ、万華鏡、プラ板の工作 | 各10 | 29 | 3回 7.8月 | | ○ | | |
| 防災訓練 | 公民館との消火・避難訓練、児童館単独訓練 | | 78 | 4回 7.11.3月 | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 行事名 | 内容 | 定員 (人) | 延べ参加 人数(人) | 回数 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|-------------------------------|---------------------------------------|-----------|---------------|--------------|---|---|----|----|
| | | | | 実施月 | | | | |
| 夏期クラブ思い出会 | 夏期クラブの反省会と会食 | | 0 | 中止 | | | ○ | ○ |
| 科学の実験体験 | 東京学芸大サークルによる科学の講座 | | 0 | 中止 | | ○ | | |
| ゴースト ハンティング7 | 児童館の周辺でポイントを回る。中学生以上のボランティア参加 | | 0 | 中止 | | ○ | ○ | ○ |
| 利用者懇談会 | 利用者の保護者との意見交換会 | | 12 | 2回 10.2月 | | | | ○ |
| 天体観察会 ～冬の星空解説と 煮込みうどん会食 | 東京学芸大学天文サークルによる解説と保護者調理による夕食会 | | 0 | 中止 | | ○ | | ○ |
| クッキー作り・ ボランティア | クリスマス会用のクッキー作りのボランティア | 8 | 0 | 中止 | | ○ | | |
| フェルトの小物屋 さん | フェルトでの小物作り | | 12 | 2回 12.1月 | | ○ | ○ | |
| パネルシアターのクリ スマス会 | おはなし広場の出演によるクリスマス会 | | 21 | 1回 12月 | ○ | ○ | | ○ |
| 年末ライブ | 乳幼児の親子と高校生バンド・ダンスグループの音楽演奏による交流会・昼食会 | | 0 | 中止 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| たこあげ大会で手作り 凧をあげよう | 老人会の指導による凧作り | 6 | 0 | 中止 | | ○ | | |
| レジンでキーホルダー を作ろう | 講師による小学生対象講座 | 10 | 10 | 1回 2月 | | ○ | | |
| バンド室施設利用 | 中・高校生世代への防音室の貸出 | 2 | 142 | 78回 8月～3月 | | | ○ | |
| 児童館えんにち | 児童館で活動しているグループや中・高校生世代が出店・出演する子どもえんにち | | 0 | 中止 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Sleep Over 中・高校生世代交流合 宿 | 館内に宿泊し、中・高校生世代の交流を図る | 20 | 0 | 中止 | | | ○ | |
| 小学生グループ遠足 | 小学校高学年、低学年のグループ遠足 | | 0 | 中止 | | ○ | | |

●緑児童館 年間行事一覧
【乳幼児と保護者対象行事】

| 行事名 | 内容 | 定員 (組) | 延べ参加 人数(人) | 回数 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|------------------|---|-----------|---------------|-----------------------|---|---|----|----|
| | | | | 実施月 | | | | |
| おやつ作り講習会 | 離乳食卒業後の安全で栄養価の高い手作りおやつの調理講習会 | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| 離乳食講習会 | 0歳児の保護者を対象とした離乳食についての説明と調理 | 10 | 28 | 2回 10月、2月 | ○ | | | ○ |
| 幼児食講習会 | 離乳食卒業後の幼児の食事についてと、食育の重要性の説明と調理 | 10 | 21 | 1回 3月 | ○ | | | ○ |
| アイテム交換会 | 乳幼児向けアイテムの不要になった人から欲しい人への譲渡 | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| 冬の健康相談会 | 市保育園保健師による健康指導および相談 | 10 | 35 | 1回 11月 | ○ | | | ○ |
| ベビーマッサージ | 地域の保護者の指導による乳児と保護者のふれあい指導 | 8 | 16 | 1回 10月(1回中止) | ○ | | | ○ |
| ベビーサイン | 同上 | 10 | 20 | 1回 1月 | ○ | | | ○ |
| 応急救命講習会 | 小金井消防署の協力による乳幼児の事故対応の指導 | 12 | 19 | 1回 3月 | ○ | | | ○ |
| 歯の健康相談会 | 市健康課歯科衛生士による歯科指導および相談 | | 0 | 1回 3月(1回中止) | ○ | | | ○ |
| 身体測定と手形取り | 身長と体重を量り、絵の具で手形を取る。 | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| ほのぼのサロンのクリスマス会 | 地域サークルによるクラシックコンサート、サンタクロースとの写真撮影 | 20 | 41 | 1回 12月 | ○ | | | ○ |
| その他季節行事 | 七夕、焼いも、豆まきなど季節に合わせた親子イベント | | 141 | 2回 7.1月(焼き芋は中止) | ○ | | | ○ |
| コンサート | 地域サークルによるクラシックコンサートの上演 | 20 | 41 | 0回 クリスマス会で実施 | ○ | | | ○ |
| 乳幼児お話し会 | 地域ボランティアによる絵本の読み聞かせやパネルシアターの上演。誕生日会と同時に実施 | | 0 | 中止(職員が毎回最後に行った) | ○ | | | ○ |
| 誕生日会(乳幼児お話し会を編入) | 各月生まれの子どもを歌や手遊びで祝う。 | 9 | 291 | 9回 7月から毎月 | ○ | | | ○ |
| ほのぼのサロンの水遊び | 館庭にプールを出して水遊び | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| パパもおいでよ | 土曜日に実施の父親の地域参加を推進するための事業 | | | 平日も含め、日常的に父親の参加が増えたため | ○ | | | ○ |
| インスタ映えの日 | 季節に合わせた背景や衣装で子どもたちを撮影 | | 162 | 8回 11月から毎月実施計8回 | ○ | | | ○ |
| 幼児グループ合同運動会 | 2つの幼児グループ合同の運動会 | | 0 | 中止 | ○ | | | ○ |
| 母親セミナー | 上記幼児食講習会として実施 | 10 | 21 | 1回 3月 | ○ | | | ○ |

【定例行事】

| 行事名 | 内容 | 定員 (人) | 延べ参加 人数(人) | 回数 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|-----------------|--|---------------|---------------|---------------------|---|---|----|----|
| | | | | 実施月 | | | | |
| グリーンサンタの手作り工房 | 児童館自主サークル「グリーンサンタ」の指導によるペーパークラフト | 各8 | 51 | 9回 7月から毎月 | | ○ | | |
| キッチンパーティ | ボランティア講師の指導による本格的な洋菓子を中心としたスイーツ作り | | | 中止 | | ○ | ○ | |
| ロビンソンクラブ | 児童館自主サークル「ロビンソンクラブ」の指導による幼児（3歳～小学校3年生）を対象とした工作や料理（令和2年度は職員が指導） | 各12 (幼4小8) | 128 | 8回 7月から毎月（8月を除く） | ○ | ○ | | |
| おはなしのとびら | 保護者ボランティアによる昔語り、絵本の読み聞かせ、影絵の上演 | | | 中止 | ○ | ○ | | ○ |
| あつまれみどりっ子 | 幼稚園世代の居場所作りと保護者の交流のための工作や遊びの行事 | 各10 (5組) | 109 | 9回 7月から毎月 | ○ | | | ○ |
| ナオセルマン博士のおもちゃ病院 | おもちゃの病院グループによるおもちゃの修理 | | 68 | 8回 7月から毎月（8月を除く） | ○ | ○ | ○ | ○ |

【館外行事】

| 行事名 | 内容 | 定員 | 延べ参加 人数(人) | 回数 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|--------------|------------------------------|-----------|---------------|-----|---|---|----|----|
| | | | | 実施月 | | | | |
| 野外事業（春、秋） | 千葉県野田市清水公園内フィールドアスレチックへの遠足、他 | | | 中止 | | ○ | | |
| 低学年グループお別れ遠足 | 火曜日・金曜日グループ合同遠足 | グループ活動参加者 | | 中止 | | ○ | | |
| 高学年グループお別れ遠足 | ワイルドグループ・ハンドメイドグループ合同遠足 | グループ活動参加者 | | 中止 | | ○ | | |

【その他行事】

| 行事名 | 内容 | 定員 (人) | 延べ参加 人数(人) | 回数 | 幼 | 小 | 中高 | 大人 |
|-------------------|---|-----------|---------------|--------------------------------|---|---|----|----|
| | | | | ----- 実施月 | | | | |
| おはなしのとびら新一年生歓迎会 | 児童館紹介クイズ、保護者ボランティアによる昔語り、影絵の上演 | | | 中止 | ○ | ○ | | ○ |
| 利用者懇談会、自主グループ打合せ会 | 児童館で活動している自主グループや子育てひろば利用者との児童館の事業や地域の子どもの問題についての意見交換会、共同のイベントの企画、調整等 | | 5 | 1回 11月 (利用者懇談会1回実施。その他2回中止) | | | | ○ |
| 防災避難訓練 | 開館時の火災や地震を想定した来館者の避難誘導訓練。学童保育所と合同で2回、午前の乳幼児と保護者利用時を想定した単独でを2回行なった。 | | 306 | 4回 7.11, 3 (2)月 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| エコクッキング | 環境やごみの排出の制限を意識しながら料理を作る食育事業 | | | 中止 | | ○ | | |
| 春のスイーツ作り | 春の果物や食材を使用したお菓子作り | | | 中止 | | ○ | | |
| のみの市 | 児童館で活動する小学生グループや保護者のグループ、ボランティアたちが出店する子ども縁日 | | | 中止 | ○ | ○ | ○ | ○ |

IV 資料



節分（本町児童館）



ひろばでの手遊び
（東児童館）



チャンバラ遊び（貫井南児童館）



高学年グループ（緑児童館）

1 利用状況

年間利用状況

単位:人

| | | 本町 | 東 | 貫井南 | 緑 | 合計 |
|-------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 幼 児 | | 2,591 | 4,166 | 1,396 | 3,567 | 11,720 |
| 前年 | | 3,140 | 6,509 | 2,786 | 4,760 | 17,195 |
| 小 学 生 | 1年 | 661 | 510 | 753 | 1,448 | 3,372 |
| | 2年 | 1,044 | 587 | 674 | 697 | 3,002 |
| | 3年 | 1,171 | 662 | 631 | 1,798 | 4,262 |
| | 4年 | 1,436 | 1,737 | 2,274 | 826 | 6,273 |
| | 5年 | 1,749 | 268 | 1,102 | 829 | 3,948 |
| | 6年 | 1,908 | 962 | 1,137 | 1,343 | 5,350 |
| | 小計 | 7,969 | 4,726 | 6,571 | 6,941 | 26,207 |
| | 前年 | 10,455 | 13,187 | 8,628 | 9,985 | 42,255 |
| 中 学 生 | 1年 | 8 | 83 | 562 | 188 | 841 |
| | 2年 | 19 | 124 | 224 | 32 | 399 |
| | 3年 | 55 | 41 | 62 | 15 | 173 |
| | 小計 | 82 | 248 | 848 | 235 | 1,413 |
| | 前年 | 366 | 905 | 1,987 | 394 | 3,652 |
| 高 校 生 | 1年 | 24 | 3 | 256 | 53 | 336 |
| | 2年 | 8 | 13 | 94 | 1 | 116 |
| | 3年 | 6 | 31 | 5 | 0 | 42 |
| | 小計 | 38 | 47 | 355 | 54 | 494 |
| | 前年 | 91 | 301 | 1,470 | 105 | 1,967 |
| 大 人 | | 2,556 | 4,413 | 1,542 | 3,495 | 12,006 |
| 前年 | | 3,844 | 7,108 | 3,532 | 5,736 | 20,220 |
| 合 計 | | 13,236 | 13,600 | 10,712 | 14,292 | 51,840 |
| 前年 | | 17,896 | 28,010 | 18,403 | 20,980 | 85,289 |
| 開館日数(日) | | 237 | 240 | 242 | 237 | |

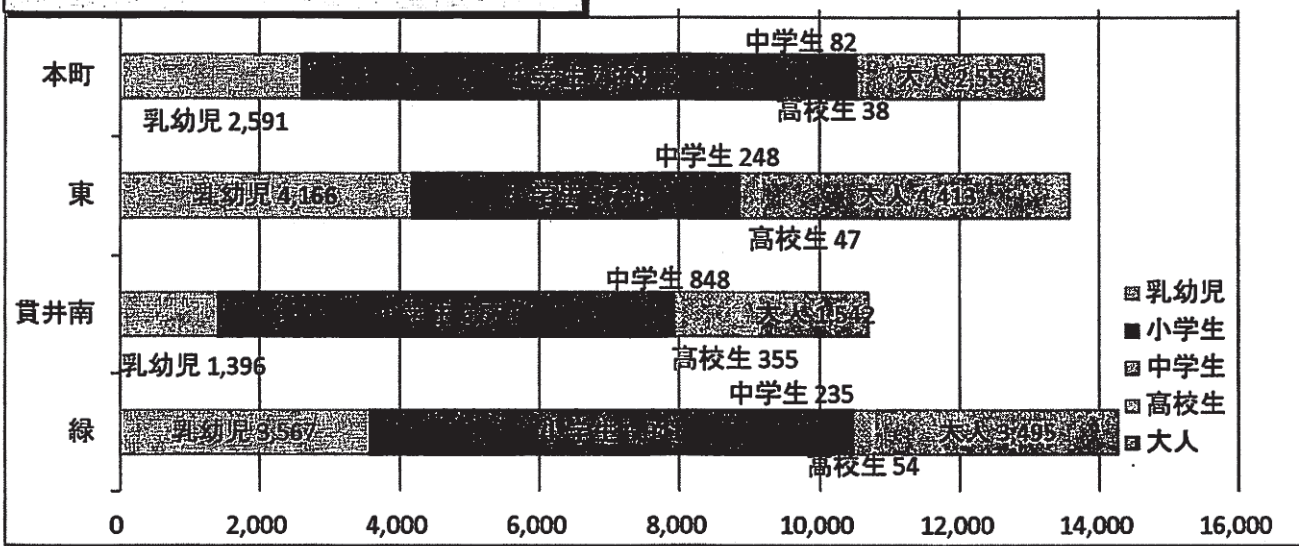
1館1日平均利用者数

54人

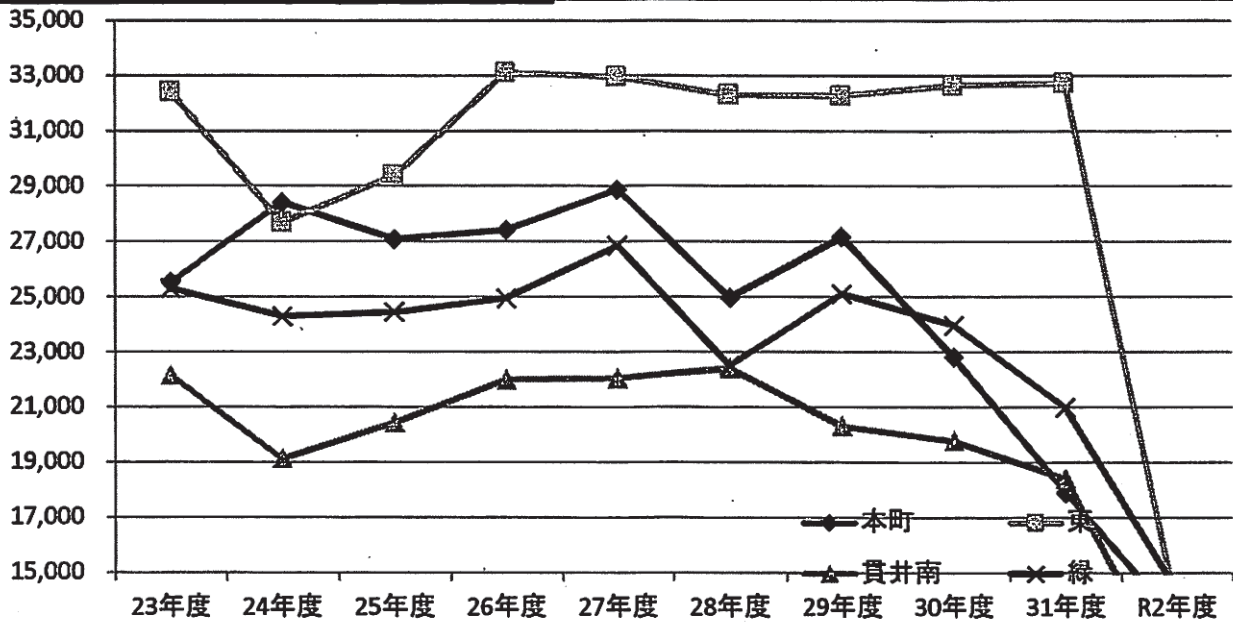
(再掲:小~高) 29人

(再掲:中~高) 1人

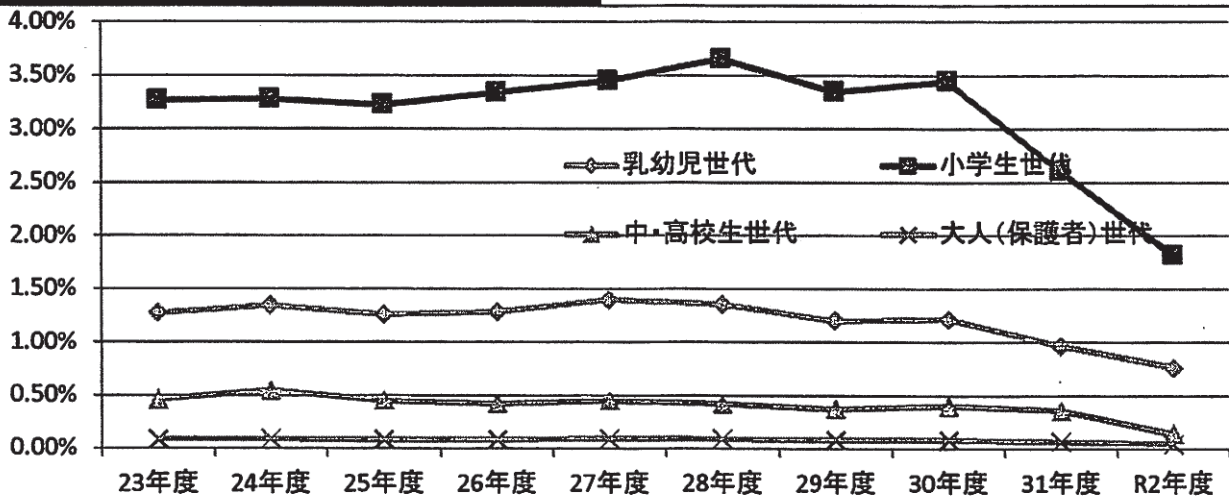
児童館4館の利用者数の推移 (人)



児童館4館の利用者数の推移 (人)



各世代の児童館利用者割合の推移 (%)



2 予算関係

令和2年度 児童館関係予算 ※表中「*」は新型コロナウイルス感染症の関係経費が含まれるもの。

(歳入)

(単位:千円)

| 節 | 説 明 | 調定額 | 再掲(児童館) |
|---------------------|--------------------------|---------|---------|
| 児童福祉費補助金 (国庫補助金) | 子ども・子育て支援交付金* | 107,166 | 6,276 |
| 児童福祉費補助金 (国庫補助金) | 次世代育成支援整備交付金 | 6,540 | 6,540 |
| 児童福祉費補助金 (都補助金) | 子育て推進交付金 | 736,664 | 2,213 |
| 児童福祉費補助金 (都補助金) | 東京都子供・子育て支援交付金 | 97,204 | 5,948 |
| 児童福祉費補助金 (都補助金) | 児童館環境整備補助金 | 6,540 | 6,540 |
| 児童福祉費補助金 (都補助金) | 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金* | 6,540 | 1,546 |

※本表は、児童館運営審議会に要する経費、児童館維持管理に要する経費及び児童館運営に要する経費を合算して計上しています。

(歳出)

(単位:千円)

| 節 | 節合計 | 説 明 | 予算額 |
|--------------|--------|--|--|
| 報酬 | 5,664 | 児童館運営審議会委員報酬(10人) 会計年度任用職員(月額)報酬(1人) 会計年度任用職員(時間額)報酬 | 303 2,414 2,947 |
| 職員手当 | 559 | 会計年度任用職員期末手当 | 559 |
| 報償費 | 671 | 児童館運営審議会保育室保育士謝礼 講師の報償 その他の報償 | 12 216 443 |
| 旅 費 | 34 | 特別旅費 | 34 |
| 需用費 | 9,768 | 燃料費 光熱水費(電気・ガス・上下水道料金) 修繕料(児童館網戸)* 緊急修繕料(建物・備品・車検等) 消耗品費* 印刷製本費 賄材料費 医薬材料費* | 34 5,178 1,290 2,125 806 6 75 254 |
| 役務費 | 838 | 郵便料 電話料 洗濯料 ピアノ調律料 事業系ごみ処理手数料 傷害・賠償レクリエーション保険料 | 13 218 55 22 82 448 |
| 委託料 | 30,681 | 児童館運営審議会会議録作成委託料 消防用設備保守点検委託料 定期清掃委託料 冷暖房機保守点検委託料 グリストラップ清掃委託料 非常通報装置保守管理委託料 管樹清掃委託料 樹木剪定委託料 樹木消毒委託料 児童館運営委託料 | 75 77 1,073 61 163 132 163 459 102 28,376 |
| 使用料及び 賃借料 | 243 | 清掃モップ借上料 入園料 自動車借上料 印刷機借上料 | 32 9 4 198 |
| 備品購入費 | 351 | 備品購入費* | 351 |
| 工事請負費 | 19,624 | 本町児童館改修工事 | 19,624 |
| 補償補填及び賠償金 | 1 | 災害賠償等補償金 | 1 |

3 施設概要

<本町児童館>

所在地 小金井市本町5丁目4番25号 電話 042-383-1176
規模 土地面積 700.24 m² (ほんちょう学童保育所併設)
建物総床面積 558.12 m² (1階 280.32 m² / 2階 277.80 m²)
うち児童館床面積 354.74 m²
開館 昭和41年5月1日
改築 昭和57年10月1日



<東児童館>

所在地 小金井市東町4丁目25番7号 電話 042-383-1177
規模 土地面積 1,256.17 m² (たまむし学童保育所併設)
建物総床面積 683.64 m² (1階 465.03 m² / 2階 218.61 m²)
うち児童館床面積 386.71 m²
開館 昭和43年5月1日
改築 昭和63年4月16日



<貫井南児童館>

所在地 小金井市貫井南町4丁目3番23号 電話 042-383-9777
規模 土地面積 1,880.82 m² (公民館貫井南分館併設)
建物総床面積 1207.19 m²
(1階 548.31 m² / 2階 503.61 m² / R室他 155.27 m²)
うち児童館床面積 324.63 m²
開館 昭和48年5月1日



<緑児童館>

所在地 小金井市緑町4丁目18番25号 電話 042-383-6910
規模 土地面積 1,209.52 m² (みどり学童保育所併設)
建物総床面積 650.54 m²
(1階 378.13 m² / 2階 264.74 m²)
うち児童館床面積 391.25 m²
開館 昭和62年5月1日



4 職員体制

児童館長 児童青少年課長兼務

<本町児童館>

常勤職員 2人 会計年度任用職員 1人

<東児童館>

「NPO法人ひ・ろ・こらぼ」に業務委託 (平成18年10月より)

<貫井南児童館>

常勤職員 3人

<緑児童館>

常勤職員 3人